

令和5年刊行

消防年報



令和4年12月に更新した朝日ポンプ1号車



令和5年3月に更新した羽黒救急1号車

鶴岡市消防本部

ま え が き

1 この消防年報は、鶴岡市消防本部の消防現勢及び令和4年中における活動概要等を収録したものです。

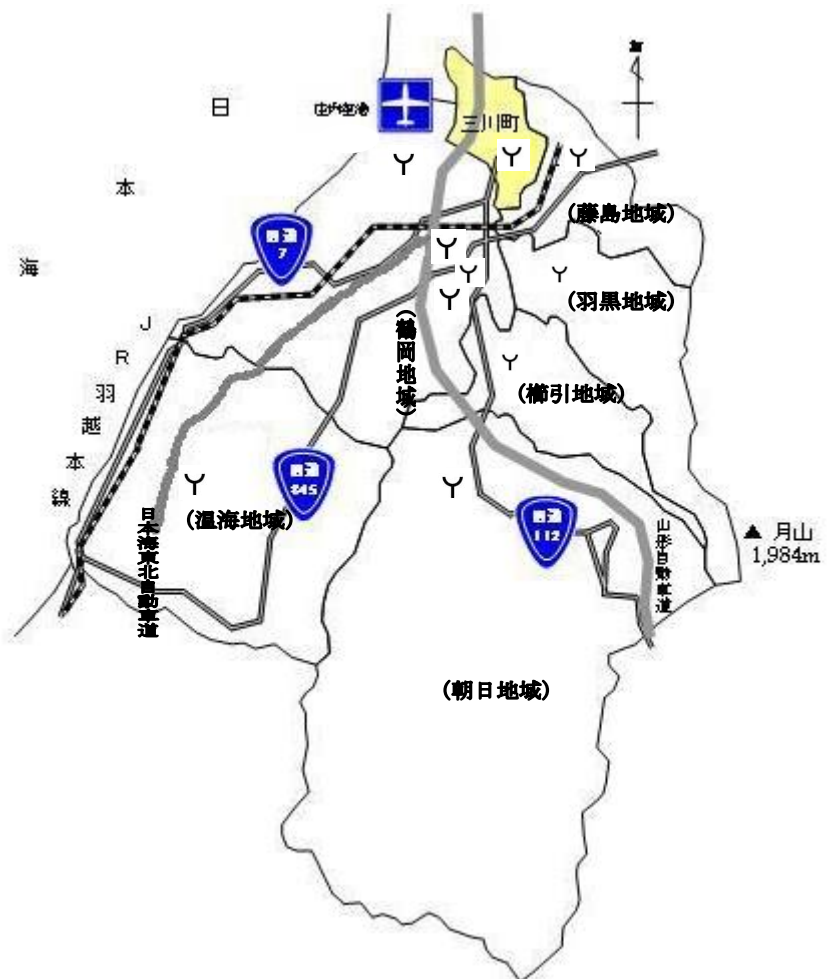
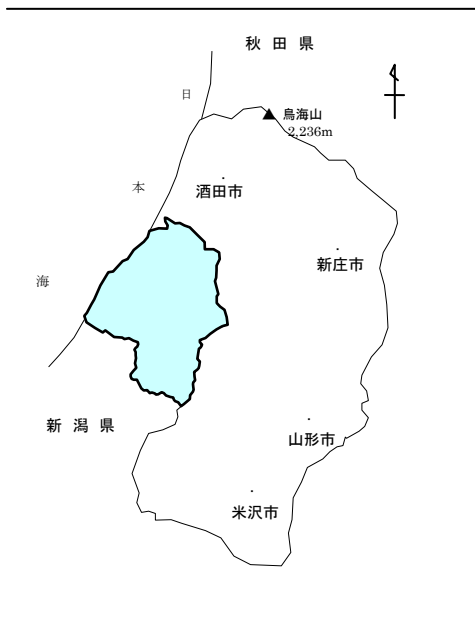
消防業務の実態を広く紹介し、ご理解とご支援をいただき、今後の消防行政の運営と消防力の充実に資するものであります。

2 火災・救急・救助及び通信統計については暦年、また予防統計・予算等に関するものについては、年度により作成しております。

— 管内の位置 —

当消防本部は、米どころ山形県庄内平野の南部に位置し、東に霊峰月山・羽黒山・湯殿山などの美しい山々が連なり、西は岩礁と長い砂丘で日本海に面し、南は新潟県村上市、北は港都酒田市と接しています。

鶴岡市は大自然に囲まれながら災害は少なく、管内総面積（消防事務を受託している三川町含む）は1,344.7k㎡で、江戸時代は徳川四天王といわれた酒井氏の統治のもと、庄内最大の城下町として発展してきました。



目 次

まえがき

令和5年度 鶴岡市消防本部事業概要

1 消防本部の使命	1
2 消防本部の運営方針	1
(1) 目標	1
(2) 運営方針	2
3 重点取組項目	3
(1) 総務関係	3
(2) 予防関係	3
(3) 警防関係	5
(4) 消防署関係	6
(5) 通信指令関係	7

管内情勢編

沿革	8
消防庁舎の現況	14
管内情勢	15
月別気象情報	15
協定書及び覚書締結状況	16

総務編

組 織	17
歴代消防長・消防次長・消防署長	17
1 歴代消防長	17
2 歴代消防次長	17
3 歴代消防署長	17
令和5年度 当初予算	19
1 年度当初予算の比較	19
2 過去5年間の歳出決算額（一般会計との比較）	19
職員採用状況	20
令和4年度 消防学校等入校計画	20
1 山形県消防学校	20
2 救急救命士養成	20
3 消防大学校	20
消防職員配置状況	21

年齢別消防職員数	21
在職年数別消防職員数	22
消防職員数の推移	22
各種免許・特殊技能等資格取得状況	23
音楽隊編成表	23

予 防 編

防火活動状況	24
1 防火研修会及び消防訓練実施状況	24
2 幼年消防クラブ・少年消防クラブ・婦人防火クラブ組織状況	25
防火管理	26
防火管理者を定めなければならない防火対象物及び選任対象物	26
査 察	27
1 査察対象事業所等状況	27
2 防火対象物定期点検報告制度対象物数	28
3 防災管理点検報告制度対象物数	28
4 防火対象物の現況と査察実施状況	29
5 建築確認同意事務処理状況	30
危険物規制	31
1 危険物施設現況数	31
2 危険物施設の許認可等状況	31
3 年度別危険物施設数	32
4 危険物施設立入検査実施状況	32
火災統計	33
1 火災の概況	33
2 市町及び地域別火災発生状況	34
3 月別火災発生状況	36
4 原因別出火件数	38
5 時間帯別出火件数	38
6 曜日別出火件数	38
7 初期消火器具等の使用状況	38
8 建物火災の用途別発生状況	39
9 住宅火災の出火箇所別発生状況	40
10 住宅火災の原因別発生状況	40
11 住宅火災の曜日別発生状況	41
12 住宅火災における初期消火器具等の使用状況	41
13 総出火件数等	42
14 住宅火災の推移	42

警 防 編

主な消防機器の現況	43
消防車両等配備状況	44
通信指令業務	46
1 通信系統図	46
2 高機能消防指令センター システム図	47
119番受信状況	48
1 月別受信状況	48
2 曜日別受信状況	48
一般加入電話受信状況	49
1 月別受信状況	49
2 曜日別受信状況	49
消防水利の現況	50
中高層建築物の現況	51
1 市町及び地域別状況	51
2 用途別状況	51
救急統計	52
1 救急活動状況	52
2 月別事故種別出動件数と搬送人員	54
3 医療機関別搬送人員の状況	54
4 事故種別出動状況	54
5 年齢区分別傷病程度別搬送人員の状況	55
6 曜日別時間帯別搬送人員状況	55
7 現場到着所要時間状況(入電～現場到着まで)	56
8 収容所要時間状況(入電～医療機関まで)	56
9 住所別搬送人員状況	56
10 救急隊員の行った応急処置の状況	57
11 過去5ヶ年の事故種別出動・搬送人員の状況	58
12 職員が行った応急手当普及啓発活動の状況	59
救助統計	60
1 市町別救助件数・救助人員	60
2 出動隊別事故種別出動状況及び救助人員	61
3 発生場所別事故種別救助人員	61

消 防 団 編

消防団の構成	62
消防団長・副団長名	62
階級別消防団員数	63
在職年数別消防団員数	63
年齢別消防団員数	64

消防団機械等現勢.....	64
階級別消防団員報酬.....	65
出動手当額.....	65
消防救助技術大会出場記録.....	66

令和5年度 鶴岡市消防本部事業概要

1 消防本部の使命

『安全・安心を誇れる街 鶴岡を目指して』

消防本部（1本部1署9分署、210名の職員）は、火災、救急、救助をはじめ、あらゆる災害時の市民の緊急事態に、消防ポンプ自動車、救急自動車等の消防設備機材を活用し、日ごろの訓練で培った技術、経験を最大限に発揮するとともに、地域防災力の要である鶴岡市消防団等との連携強化を図りながら、地域の安全と地域住民の安全・安心を確保します。また、感染症対策等を徹底し、消防機能が低下することがないように全力を尽くします。

2 消防本部の運営方針

目標

市民生活の安全・安心を確保することは、まちづくりの基本であるという認識のもとに消防・救急体制の充実・強化を図り、次の目標を掲げて「安全・安心を誇れる街鶴岡」を創造します。

(1) 災害の低減

市民の生命、身体、財産を災害から守るために、各種施策を展開することはもとより、市民とのより強固な信頼関係を築き、役割分担を明確にした上で、市民の防火防災活動を促進し、これを積極的に支援することと併せ消防団の地域に根ざした各種活動との連携を図り、災害の低減を目指します。

(2) 災害対応

災害発生時においては、迅速・確実に対応することによって被害を最小限に抑えるとともに、本市又は他市町村において大規模な災害が発生した場合における広域的な災害対応に備えて、緊急消防援助隊登録消防機関としての役割を念頭に置き、各地域や関係機関・団体との連携を強化するなど、効率的かつ効果的な施策を展開します。

鶴岡市消防本部 マスコットキャラクター てんじんくん



救急隊



消防隊



救助隊

2023年度全国統一防火標語 「火を消して 不安を消して つなぐ未来」

運営方針

消防本部の使命と目標を達成するため、消防本部運営方針を次の5項目とします。

(1) 「安全・安心なまちづくり」のための消防体制の充実

職員の資質向上、消防施設の計画的な整備、ITを活用した事務効率化等を図り、経営資源（人材・予算・施設装備）を有効活用するとともに、消防団の要員動員力や地域に精通している特性を最大限に発揮するために消防団の充実強化を図ります。

(2) 地域に根ざした火災予防による安全・安心なまちづくりの推進

少子高齢化の進展など社会情勢の変化の中で、地域に根ざした防火防災意識の啓発に努めるとともに、地域の自主防災組織をはじめとする市民の自主的な取り組みを通じて防火・防災意識の輪を拡げていきます。

一方、住宅用火災警報器の更なる設置の徹底、適切な維持管理の周知及び経年劣化した機器の交換の推進を図ります。

また、事業所等における防火管理体制及び消防法令違反の是正を強化します。

(3) 迅速・的確な災害対応による安全・安心なまちづくりの推進

大規模化、複雑多様化する各種災害に迅速・的確に対応するため、関係機関との連携及び装備・資機材を活用、より実践に即した訓練、研修等を実施して警防体制を強化します。119番での緊急通報を迅速かつ正確な情報として入手できるよう、引き続き適正な通報要領等の普及促進と聴取技術向上のための研修を実施します。併せて高齢化率の急速な進行を背景とした救急業務の高度化に的確に対応します。

(4) 消防職団員の人材育成

より専門的かつ広域的な災害対応を求められている現状を踏まえ、消防職団員の総合的な職務能力を高めるための研修体制の強化を図るとともに、職員個々の自己啓発が能力開発の基本であることを認識し、職場研修を計画的かつ継続的に実施します。

(5) 市民志向・現場重視の施策推進

昨今の複雑多様化する災害等に対応していくためには、市民の理解と協力が不可欠です。そのため、上記各施策を展開するにあたり、消防行政に関する情報の発信による情報共有を図り、相互理解のもと共に考え、自助・共助・公助をベースとしたまちづくり・市民自治を推進し、市民一人ひとりの安全と安心の確保に努めます。

また、災害時要配慮者や幼少年齢者を対象とした各施策については、関係部局や市民との連携で確実に進める一方、対象市民とその家族、地域との情報の共有を図る広報業務を展開します。

3 重点取組項目

【総務関係】

(1) 消防力の維持・強化及び消防機能の整備・充実

- ① 時代に合った体制について、消防力の低下を招かないよう署所や人員、消防車両等の機能的配置など、引き続き消防機能の整備・充実を図る。

昭和49年建設の朝日分署の老朽化対策として、朝日庁舎敷地内での庁舎との合築整備として庁舎再整備事業と連携し、令和6年度の開署に向け、事業を進める。

- ② 市民の生命と身体及び財産を守るため、地域特性に即した消防体制の更なる充実強化を図り、消防ポンプ自動車及び救急自動車を更新整備する。

(2) 消防業務の高度化等に対応する人材育成

- ① 複雑・多様化する災害に的確に対応し、将来にわたって持続可能な消防体制を整備・確立するため、消防本部及び消防署（分署）の果たす役割と階級・職種別等に応じたより高度で専門的な知識・技術を習得する専科教育をはじめ、隊長等の職務能力の向上を図る幹部教育、また需要が多く高度化する救命処置に対応するための救急教育などの充実を図るとともに、それに対応した適材適所への人材配置を念頭に人材育成を継続して行う。

- ② 市役所との連携を一層強化するとともに、消防職員の能力向上を図るため、市役所の関係部署及び県防災航空隊等の職員派遣を継続して行う。

(3) 魅力ある職場づくりの推進

- ① 消防職員が凄惨な現場活動に従事することにより受ける心理的な負荷を軽減させるため、消防惨事ストレスケア実施要綱により適切なストレスケアに努めるとともに、メンタルヘルス（心の健康）自己申告制度等を有効活用し、悩みの早期の気づきなど、日常からアンテナを高くして働きやすい職場環境の構築を目指す。また、ハラスメント防止においては、「鶴岡市職員のハラスメント防止ガイドライン」及び、消防長の「ハラスメント防止宣言」に基づき、引き続き取り組み強化に向け、管理監督職員はもとより、職員全員がハラスメント等に対する正しい理解と意識の向上及び、防止に不断の決意をもって努め、職員一丸となって風通しの良い働きやすい職場環境づくりを推進する。

- ② 産業医巡回、管理職及び衛生管理者の職場巡視を積極的に実施し、職員との意思疎通を図り、職場環境、事務能率の向上改善に努める。

- ③ 職員の不祥事の未然防止（抑止）を図るため、倫理規範推進委員会を有効に活用し、積極的な施策取り組みによる「信頼される消防職員づくり」を展開する。関連研修への職員派遣、職員間による伝達講習や意見交換会などを通し、職員一体の取り組みとして各々が強く自覚する意識の醸成を図る。

【予防関係】

(1) 火災予防広報の充実

- ① 広報要領等に基づく効率的な活動

年度ごとに作成する当消防本部の広報要領に基づき、消防車両や防災行政無線の活用をメインとした火災予防広報を実施する。また、火災多発時には、市広報紙や

ホームページ等に掲載し出火防止を強化する他、季節ごとに多い出火原因を内容とした防火チラシを随時配布する等、効果的に周知する。

各種イベントでは、消防音楽隊の防火演奏や、消防本部のマスコットキャラクターである「てんじんくん」の着ぐるみを活用する等、親しみやすい予防啓発を推進する。

② 自主防災組織等と連携した防火・防災啓発活動

市民一人ひとりが、火災や災害等に関する対応力を身につけるため、町内会、自主防災組織、事業所等と連携を図り、地域の実情に応じた防火・防災に関する訓練や研修を実施する。また、幼・少年期から防火・防災教育を行うことで、有事の際に、自らが考えて行動できるような環境づくりを推進する。

③ 消防関係団体との連携

防火思想がより地域に浸透するよう、危険物安全協会、防火管理連絡協議会、少年婦人防火委員会、消防団等の関係団体と連携し、火災予防運動や危険物安全週間中の行事を展開する他、他部局・他機関で開催するイベントへ出向し啓発活動を実施する。

(2) 住宅防火対策の推進

① 住宅用火災警報器の普及啓発

住宅火災による被害を減少させるため、住宅用火災警報器の消防法令に基づいた設置のみならず、設置から10年以上経過している世帯が増えていることから、作動点検の実施による適正な維持管理と経年劣化した機器の交換を周知する。また、設置状況等調査により未設置世帯等の実情を詳細に把握し、対応策を講じることで設置率等の向上を図る。

② 住宅防火に有効な防災機器等の設置促進

火災の拡大を防止するため、初期消火に有効な「住宅用消火器」の設置や「防災品」の使用を啓発する。また、出火防止対策として、安全装置が設置されている暖房器具や調理器具の使用を推進する。

③ 高齢者世帯における防火安全対策の推進

高齢化社会が進展していることから、「高齢者世帯等防火訪問調査」による直接的な指導を強化し、火気の取り扱いに関する注意事項等の周知を徹底することで出火防止を図る。

(3) 事業所等における防火安全対策の推進

① 火災予防査察の充実強化

出火危険因子の排除と避難の安全確保を重点とした火災予防査察を実施し、消防法令違反を認めた事業所等については、追跡調査を強化する。

重大な消防法令違反がある事業所については違反公表制度を適用し、違反の状況を情報提供することで利用者の安全を確保する他、改修が遅れている場合には警告・命令等により厳正に対処する。また、出火防止対策と発災時の対応において、実効性のある自主防火管理体制が構築されるよう指導する。

② 危険物施設における保安管理体制の充実

施設における事故の未然防止や被害拡大時の対応について、予防規程等に沿った

事故対応が構築されるよう、適正な点検要領及び保安対策を指導する。

(4) 火災調査体制の整備

火災の様態は複雑かつ多様化し、火災調査の資質の向上を図る必要がある。このことから、定期的な専門分野に係る職員研修を実施する他、予防課員と各課・各分署員の合同による現場調査体制を強化し、経験を積み重ねることでレベルアップを図る。

【警防関係】

(1) 消防力の充実強化

① 消防施設・設備の整備

消防活動の機動力を確保するため、計画的に車両及び資機材を整備・更新するとともに、大規模地震に備えた耐震性貯水槽の整備や、老朽化している消防団ポンプ庫の改築を計画的に進める。また、消防団「班の統合計画」に基づき、軽搬送車やホース等資機材を配備して消防力・機動力の確保を図る。

② 関係機関との連携体制強化

災害時の消防活動が迅速・的確・円滑に行われるよう関係機関とのより実践に即した合同訓練等を計画的に実施する。また、林野火災や土砂災害などの大規模災害に備え、関係機関及び市防災部局との連絡及び連携体制の強化を図る。

③ 緊急消防援助隊の出動態勢及び受援体制の強化

全国的に多発している大規模災害に対応するための緊急消防援助隊に12隊47名を登録し、山形県の代表消防機関代行として県内消防本部と連携を図るとともに、岩手県で開催される緊急消防援助隊北海道・東北ブロック合同訓練に参加して、実践的な活動等の連携強化を図る。また、土砂災害被災地消防本部としての経験を活かし、「鶴岡市消防本部受援計画」に基づいた訓練等を実施し、初動体制と受援体制の強化を図る。

(2) 山形県及び東北地区支部消防救助技術指導会の開催

新潟県を含む東北各県を代表する消防本部の救助隊員が、災害現場での「安全、確実、迅速」な救助活動に繋げるための基本的な消防救助技術を競う、「山形県消防救助技術指導会」及び「東北地区支部消防救助技術指導会」を当市消防本部にて開催する。この指導会を確実に成し遂げるとともに、当消防本部職員の救助技術能力の向上を図る。

(3) 救急救命体制の整備

① 救急救命士養成及び教育、応急手当普及啓発事業の推進

救急救命士を計画的に養成し救急業務の高度化を図るとともに、指導救命士を中心とした教育体制による救急隊員の育成、知識、技術の向上と現場対応力の強化を図る。また、e-ラーニングを併用しライフスタイルに合わせた応急手当講習会を計画するとともに、応急手当普及員と連携した啓発活動を展開して、バイスタンダーの質の向上を図り、救命率向上に繋げる。

② 高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材の整備

今後の車両更新の見通しから、老朽化した車両及び資機材を更新導入し、救急現

場での高度な救命処置を展開することにより、搬送の質の向上を図る。

③ 医療機関等との連携強化

医療機関や保健所、健康福祉部局と連携し、高齢化や多様化する救急事案において、市民ファーストを考慮した活動体制の強化を図る。また、感染症に係る情報共有を図り、円滑な搬送体制を継続して実施する。

(4) 消防団の組織体制の強化

① 消防団組織再編

組織検討委員会で策定した「班の統合計画」に基づく班統合と併せた資機材整備を進めるとともに、班の母体となる「部・分団の統合」等の検討を進め、消防力の維持強化を図る。

② 消防団の活動体制の検討

地域の実情に即した災害現場で役立つ実践的な訓練を推進するとともに各種行事や研修会のあり方を検討し、団員が活動しやすい環境の整備と団員の負担軽減を図る。

③ 消防団員の入団促進

これからの時代に合った魅力ある消防団とするため、現在抱えている課題について消防団員による意見交換を行い、組織力向上を図るとともに県が作成している消防団PR動画を活用するなど、消防団の活動状況と必要性をより身近に感じてもらうため積極的に市民に広報し、理解を得ることで消防団員としてのやりがいや活力に結び付け、団員の確保と入団促進を図る。また、消防団員の約8割が被用者であり、消防団活動には、事業所等の消防団への理解と協力が不可欠であることから、積極的に鶴岡市消防団協力事業所表示制度を周知・推進し、団員が入団しやすく、かつ活動しやすい環境整備を図る。

【消防署関係】

(1) 警防活動体制の充実強化

- ① 火災の特性を踏まえた現場指揮能力の向上と安全管理体制確立のため、全署で取り組む火災防ぎょ訓練を実施し、消防活動体制の強化を図る。
- ② 知識技術の伝承及び活動要領の統一化を図るため、消防活動マニュアルに基づく訓練及び研修を実施し、職員の育成とともに災害対応力の強化を図る。
- ③ 全国的に頻発する災害情報等を入手し、警防計画の随時更新及び訓練を実施し、特殊災害発生時の被害軽減を図る。

(2) 救助活動体制の充実強化

- ① 多様化する各種救助事案及び大規模地震や台風、豪雨、土砂災害等に対応するため、救助資器材を活用した訓練を継続的に実施するとともに、大規模災害発生時における専門的な知識と高度な技術を習得し、隊員の育成を図る。
- ② 事故発生時のスムーズな救助活動のため、関係機関との合同訓練を実施し連携強化を図る。
- ③ 救助技術と隊員間の連携力向上のため救助技術訓練を実施、全国消防救助大会への出場を目指す。また、当市で開催する消防救助技術指導会を関係課と連携し遂行

する。

(3) 救急活動体制の充実強化

- ① 複雑多様化する救急需要に対応するため、救急活動マニュアルに沿った訓練を実施し、救急隊員としての資質とともに対応力向上を図る。
- ② 救命率向上のため、感染対策を徹底した上での応急手当等の救急講習を定期的開催するとともに普及啓発を積極的に行う。
- ③ 円滑な救急活動を実施するため、医療機関及び福祉部局等との検討会や情報交換会を定期的開催し連携強化を図る。

(4) 広域応援・受援体制及び非常体制の充実強化

- ① 県内外の大規模災害発生時には、代表代行消防機関としての役割を担うことから、広域的な訓練に定期的に参加し、現場指揮及び部隊活動能力の強化を図る。
- ② 管内で大規模災害が発生した場合、迅速かつ円滑に県消防広域応援隊及び緊急消防援助隊を受け入れる必要があることから、西目土砂災害の教訓を踏まえ、受援に関する研修及び訓練を実施し、受援体制の充実強化を図る。
- ③ 大規模災害発生時の情報収集と伝達体制の強化、現場機能の継続性確保のため、「鶴岡市消防警防規程」に基づく研修及び訓練を実施し非常体制の強化を図る。

(5) 火災予防体制の充実強化

- ① 住宅からの出火防止と発災時の被害軽減のため、訓練指導等を通して市民との協働による住宅防火対策の推進と防火意識の高揚を図る。
- ② 防火対象物からの出火防止と発災時の被害軽減のため、火災予防査察の実施により自主防火管理体制を強化するとともに予防課との連携により重大な消防法令違反対象物の是正を推進する。

【通信指令関係】

(1) 消防通信指令設備の充実強化

- ① 令和元年に部分更新し長寿命化を図った高機能消防指令センター設備について、令和7年度末の全面更新による運用開始に向け準備を進める。
- ② 平成27年整備の消防救急デジタル無線設備の安定稼働と長寿命化対策として、令和5年度から2ヶ年に渡り実施する部分更新事業を着実に進める。

(2) 正しい119番通報の指導

- ① 消防隊や救急隊の現場到着時間は、119番通報の要領によっても大きく影響を受けることから、通報訓練の機会を捉えて「適正な通報要領」を指導する。
- ② 携帯電話よりも固定電話から119番通報が素早く現場特定できることや、携帯電話からの通報は、位置情報(GPS)の通知機能の活用が現場特定に有効であり、迅速な出動に繋がることを周知する。

(3) 要配慮者の対策

聴覚や言語障害者からの緊急通報に対応する「Net119緊急通報システム」と、外国語からの通報に対応する「119番通報等多言語通訳サービス」を広く周知し、通報者の多様化対応及び通報の迅速化により被害軽減と救命率向上を図る。また、要配慮者に関して福祉関係部局との協力体制を構築していく。

管内情勢編



本部庁舎上空からの写真

沿革

- 昭和48年 4月 1日 鶴岡地区消防事務組合発足、1市5町1村の広域消防体制成る。
鶴岡市からの出向者87名、事務組合採用者30名、総員117名
- 昭和49年 3月28日 温海、朝日分署新庁舎落成開署（温海分署には救急自動車配備）
温海分署16名、朝日分署12名
- 4月 1日 27名増員、総員144名
- 10月 1日 藤島、羽黒分署新庁舎落成開署 藤島分署12名、羽黒分署12名
- 10月31日 消防本部・消防署新庁舎落成
- 昭和50年 2月17日 日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受け、駅前分署に配備
- 4月 1日 24名増員、総員168名
- 10月 1日 三川、楡引分署落成開署 三川分署12名、楡引分署12名
- 12月 9日 山形県農業共済組合連合会から救急自動車3B型の寄贈を受け、消防署に配備
- 昭和52年 4月 1日 8名増員、総員176名
- 9月27日 日本船舶振興会から救急自動車2B型の寄贈を受け、朝日分署に配備
- 昭和53年 3月10日 山形県広域消防相互応援協定の締結
- 4月 1日 6名増員、総員182名
- 5月 1日 救助隊発足
- 11月14日 自治体消防30周年記念式典を文化会館で挙行政
- 11月27日 山形県農業共済組合連合会から救急自動車2B型の寄贈を受け、温海分署に配備
- 昭和54年 4月 1日 7名増員、総員189名
- 昭和55年 2月21日 高層建物火災に備え32m級はしご車を購入、消防署に配備
- 4月 1日 1名増員、総員190名
- 8月28日 日本損害保険協会から消防ポンプ自動車BD-I型の寄贈を受け、湯野浜分署に配備
- 12月 4日 指令車（ニッサングロリアE403型）を購入、本部に配備
- 昭和56年 7月10日 望楼解体撤去に伴い、庁舎屋上に無線設備（パンザマスト）を新設
- 8月 5日 昭和31年鶴岡市消防時代に建設された望楼が老朽により解体撤去
- 昭和57年 3月 1日 水槽付消防ポンプ自動車I B型を購入（更新）消防署に配備

昭和57年 4月 1日	職員の健康管理の充実を図るため、産業医を委嘱し衛生委員会を設置
6月28日	山形県防災行政無線局が消防本部通信指令室に設置開局され、災害時における緊急連絡及び情報収集体制が整備される。
8月24日	日本消防協会から救急自動車2B型及び緊急吸水濾過器1基の寄贈を受け、消防署に配備
昭和58年12月26日	空気呼吸器ポンベの充填機を購入
昭和59年 1月20日	消防ポンプ自動車CD-I型を購入（更新）大山分署に配備
3月 8日	日本損害保険協会から救急自動車2B型の寄贈を受け、駅前分署に配備
11月26日	水槽付消防ポンプ自動車II型購入（更新）消防署に配備
昭和60年 1月31日	広報車を購入（更新）
11月18日	消防ポンプ自動車CD-I型を購入（更新）消防署に配備
12月 5日	日本自動車工業会から救急自動車2B型の寄贈を受け、温海分署に配備
昭和62年 3月30日	通信指令装置を更新
4月 1日	集中管理システムの導入により、職員3名を減ずる。総員187名
昭和63年 2月17日	通信指令室に地図検索装置及び気象観測装置を設備
11月 8日	鶴岡地区消防事務組合課題検討委員会を設置し、高齢化対策等諸課題について検討
平成元年 3月20日	救助工作車を購入、消防署に配備
6月 5日	査察車を購入（更新）消防本部に配備
11月30日	消防ポンプ自動車CD-I型を購入（更新）藤島分署に配備
平成 2年10月20日	消防ポンプ自動車CD-I型を購入（更新）櫛引分署に配備
11月 1日	愛の福祉電話受信センター設備（災害弱者緊急通報システム）を通信指令室に設置
平成 3年 3月18日	救急自動車2B型を購入（更新）消防署に配備
4月 1日	消防職員の高齢化対策として、事務組合構成市町村への身分移行始まる。 (鶴岡市4名、羽黒町1名、櫛引町2名、朝日村1名、温海町1名)
6月21日	水防指令車を購入（更新）消防本部に配備
8月30日	救急自動車2B型を購入（更新）駅前分署に配備
11月15日	消防ポンプ自動車CD-I型を購入（更新）三川分署に配備
平成 4年 4月 1日	消防職員の高齢化対策として、8名の職員が身分移行する。 (鶴岡市4名、藤島町1名、三川町2名、温海町1名)
7月 1日	指揮2号車（トヨタクラウン）を購入（更新）消防本部に配備
11月12日	消防ポンプ自動車CD-I型（4WD）を購入（更新）朝日分署に配備
11月26日	化学車CD-II型を購入（更新）駅前分署に配備

平成 5年 4月 1日	6名増員、総員193名 消防職員の高齢化対策として、2名の職員が身分移行する。 (羽黒町1名、藤島町1名)
6月29日	広報2号車(ニッサン4WD)を購入(更新)消防署に配備
7月22日	日本防火協会から広報1号車(トヨタハイエース)の寄贈を受け、 消防署に配備
8月30日	日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車CD-I型の寄贈を 受け、消防署に配備
12月13日	水槽付消防ポンプ自動車CD-I型を購入(更新)消防署に配備
平成 6年 4月 1日	4名増員、総員197名 消防職員の高齢化対策として、4名の職員が鶴岡市に身分移行する。
9月27日	予防1号車(トヨタカーリーナ)を購入(更新)消防本部に配備
12月22日	消防ポンプ自動車CD-I型を購入(更新)大山分署に配備
平成 7年 3月 1日	救急自動車2B型を購入(更新)温海分署に配備
4月 1日	消防職員の高齢化対策として、7名の職員が鶴岡市に身分移行する。
9月 5日	緊急消防援助隊に救助隊を登録
11月14日	山形県広域応援隊に関する覚書の締結
12月20日	緊急消防援助隊派遣に関する要領の策定
平成 8年 1月16日	高規格救急自動車を購入、消防署に配備
1月29日	高度救命処置用資器材を購入
1月31日	消防ポンプ自動車CD-I型(4WD)を購入(更新)温海分署に配備
2月27日	櫛引分署新庁舎竣工(櫛引町役場庁舎改築関連事業) (敷地面積458.12㎡ 建築面積178.2㎡ 木造平屋建カラー鉄板葺)
4月 1日	4名増員、総員201名 消防長の階級を消防正監、消防次長を消防監とする。 消防本部予防課に指導係を設置、消防署は消防・通信・警防・予防 ・救急の5係制とし、救急隊を専隊化、業務執行体制の強化を図る。
9月31日	救急自動車2B型を購入(更新)朝日分署に配備
10月 1日	職員の勤務条件及び厚生福利等の向上を図るため、消防組織法に 基づき鶴岡地区消防事務組合職員委員会を設置する。
12月17日	大規模災害時における消防活動の支援団体として、元消防職員による 「消防ボランティア」が発足
平成 9年 1月10日	格納庫・リフト付き消防資器材搬送車を購入、消防署に配備
3月 4日	(財)日本宝くじ協会の援助を受けた(財)救急振興財団から、応急手当 の普及啓発を促進するため、救急指導車の寄贈を受け、消防署に配備
4月 1日	2名増員、総員203名

平成 9年 7月18日	大規模災害用資材としてエアータントA-66型を購入、消防署に配備
12月24日	消防ポンプ自動車CD-I型を購入(更新)消防署に配備
平成10年 1月 7日	消防ポンプ自動車CD-I型を購入(更新)湯野浜分署に配備
2月 9日	山形県共済農業協同組合連合会等から救急自動車2B型の寄贈を受け、駅前分署に配備
4月 1日	消防署通信係を課制の通信指令室に改め、管理職員を配置して通信体制の強化を図る。 山形県消防防災航空隊の発隊に伴い、隊員1名を派遣する。
8月31日	愛の福祉電話(災害弱者緊急通報システム)受信センター設備更新
平成11年 4月 1日	駅前分署を消防・救急の2係制とし、救急体制の強化を図る。
12月 1日	藤島分署車庫棟竣工 救急高度化推進事業として、藤島分署に救急自動車2B型を配備、運用を開始する。
平成12年 1月20日	消防ポンプ自動車CD-I型を2台購入(更新) 駅前分署及び羽黒分署に配備
3月 9日	通信指令室の地図検索装置を更新
3月17日	日本損害保険協会から高規格救急自動車の寄贈を受け、駅前分署に配備
5月16日	全国消防長会組合消防委員会を当地区で開催する。
11月28日	指揮1号車(トヨタランドクルーザー)を購入(更新)消防署に配備
11月30日	高度救助用資機材を購入
平成13年 4月 1日	消防署の係制を警備第1課・警備第2課の課制に改め、それぞれに管理職員を配置して警防体制の強化を図るとともに通信指令室を通信指令課に改める。 温海分署を消防・救急の2係制とし、体制の強化を図る。
平成14年 1月24日	消防ポンプ自動車CD-I型を2台購入(更新) 藤島分署及び櫛引分署に配備
3月31日	消防緊急通信指令施設の老朽化に伴い、改修工事を施工するとともに、通信指令課の事務室及び仮眠室を改修する。
4月 1日	朝日分署及び藤島分署に救急担当係長を配置し、救急体制の強化を図る。
平成15年 2月 1日	救助工作車Ⅲ型を購入(更新)消防署に配備
4月 1日	水難救助隊が発足
7月18日	高規格救急自動車を購入(更新)、消防署に配備
11月25日	羽黒分署車庫棟竣工 救急高度化推進事業として、羽黒分署に救急自動車2B型を配備、運用を開始する。
12月25日	はしご自動車を購入(更新)消防署に配備
平成16年 7月17日	緊急消防援助隊(新潟県内集中豪雨)出動

平成16年10月23日	緊急消防援助隊（新潟県中越地震）出動
平成17年10月 1日	組合構成市町村のうち、三川町を除く市町村が合併し、組合構成市町が鶴岡市と三川町となる。
10月11日	高規格救急自動車を購入（更新）温海分署に配備
12月25日	山形県広域応援隊（庄内町JR脱線事故）出動
平成18年 6月 1日	消防バイク隊発足
10月27日	高規格救急自動車を購入（更新）朝日分署に配備
平成19年 1月10日	消防バスを消防署に配備（福祉課より所管換え）
3月31日	鶴岡地区消防事務組合解散
4月 1日	鶴岡市消防本部発足 三川町の消防事務委託を受託
8月 9日	水上バイクを購入し消防署に配備
8月29日	広報3号車及び査察車（トヨタノア）を購入（更新）し、消防本部に配備
11月 7日	バンカー型防火衣を全職員に貸与
11月19日	消防ポンプ自動車CD-I型を2台購入（更新） 大山分署及び朝日分署に配備
12月 1日	西分署新庁舎竣工（湯野浜分署前国道拡幅工事のため） （敷地面積 2,551.42㎡ 建築面積 437.77㎡ 鉄筋コンクリート平屋建て） 西分署に高規格救急自動車を配備、運用を開始する 大山分署が西分署の分遣所となる
平成20年 2月20日	広報1号車（トヨタハイエース）を購入（更新）し、消防本部に配備
6月14日	緊急消防援助隊（岩手・宮城内陸地震）出動
7月24日	緊急消防援助隊（岩手沿岸北部を震源とする地震）出動
平成21年 1月 7日	鶴岡市美咲町に消防用地取得（9,501.76㎡）
10月 1日	消防本部・本署庁舎建設着工
10月13・14日	緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練を鶴岡市赤川河川敷公園及び湯野浜温泉で実施（97機関・176隊・763名参加）
11月 1日	高規格救急自動車を購入（更新）駅前分署に配備
平成22年 3月 1日	高規格救急自動車を購入（更新）藤島分署に配備
10月28日	JA共済連山形から高規格救急自動車の寄贈を受け、消防署に配備
平成23年 3月11日	緊急消防援助隊（東日本大震災・大船渡市）出動
3月18日	高機能消防指令センター運用開始
3月31日	西分署大山分遣所を廃止
4月 1日	美咲町に消防本部・本署新庁舎竣工（馬場町より移転） （建築面積2,219.93㎡、地上5階＋塔屋1階、仮眠室棟、屋内訓練棟、屋上場外離着陸場、屋外救助訓練棟） 馬場町の旧本署が中央分署となる

平成24年 3月 1日	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型を購入消防署に配備
4月 1日	消防本部警防課の2係制を改編し、警防係と管理係に改め、管理職員を含め3名増員し、地域庁舎で担当していた消防団事務を一元的に取扱うこととし、総員206名（条例職員定数207名）となった。
6月29日	第24回消防救助山形県指導会を当消防本部訓練場にて開催
7月19日	第41回東北地区支部消防救助技術指導会を当消防本部訓練場にて開催
11月25日	高規格救急自動車を購入（更新）中央分署に配備
12月12日	救助資器材搭載型消防ポンプ自動車を購入（更新）温海分署に配備
平成25年 4月12日	文園町に中央分署新庁舎開署（馬場町から移転） （敷地面積 1,175.25㎡ 建築面積 260.28㎡ 鉄筋コンクリート造2階建て）
9月24日	鶴岡市消防救急デジタル無線整備着工
平成26年 3月28日	化学消防ポンプ自動車購入（更新）消防署に配備
平成27年 2月16日	高規格救急自動車を購入（更新）西分署に配備
4月 1日	鶴岡市消防救急デジタル無線運用開始
4月13日	温海分署新庁舎開署（温海釜谷坂から移転） （敷地面積 1,770.34㎡ 建築面積 264.66㎡ 鉄筋コンクリート造2階建て）
11月 1日	予防3号車（日産エクストレイル）を購入（更新）し、消防本部に配備
12月21日	消防ポンプ自動車CD-Ⅰ型を購入（更新）消防署に配備
平成28年 2月10日	高規格救急自動車を購入（更新）消防署に配備
3月30日	消防ポンプ自動車CD-Ⅰ型を購入（更新）西分署に配備
4月13日	三川分署新庁舎開署（同一敷地内に建設） （敷地面積 1,184.94㎡ 建築面積 217.50㎡ 鉄筋コンクリート造2階建て）
4月15日	北分署（旧駅前分署）新庁舎開署（宝町から移転） （敷地面積 1,055.58㎡ 建築面積 265.74㎡ 鉄筋コンクリート造2階建て）
6月30日	愛の福祉電話受信センター設備（災害弱者緊急通報システム）による業務終了
12月 2日	羽黒分署新庁舎開署（羽黒地域庁舎へ併設移転） （敷地面積 7,399.13㎡ 分署部分延べ面積1階416.58㎡ 鉄筋コンクリート造2階建て）
平成29年 3月 3日	積載1号車（積載重量4.75t）を購入（更新）消防署に配備
4月 3日	消防ポンプ自動車CD-Ⅰ型を購入（更新）藤島分署に配備
平成30年 2月20日	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型を購入（更新）西分署に配備
3月27日	指揮1号車を購入（更新）消防署に配備
3月31日	高規格救急自動車を購入（更新）北分署に配備
4月 1日	1名増員、総員207名
平成31年 2月28日	高規格救急自動車を購入（更新）温海分署に配備
3月13日	消防ポンプ自動車CD-Ⅰ型を購入（更新）北分署に配備
3月20日	消防ポンプ自動車CD-Ⅰ型を購入（更新）羽黒分署に配備

平成31年 3月28日	緊急消防援助隊に係る総務省消防庁無償使用車両の津波・大規模風水害対策車（新規）を消防署に配備
4月 1日	1名減員、総員206名
令和元年 6月18日	山形県沖を震源とする地震発生 発生時間 22時22分 規模 マグニチュード6.7 震度6弱（鶴岡市）
10月 1日	Net119緊急通報システムと119番等多言語通訳サービスを導入し運用開始
10月13日	緊急消防援助隊（台風19号・宮城県丸森町）出動
令和 2年 1月15日	予防2号車（火災原因調査車）を購入（更新）消防本部に配備
2月18日	救助工作車Ⅱ型を購入（更新）消防署に配備
3月13日	高機能消防指令システムを部分更新し運用開始
4月 1日	1名増員、総員207名
7月28日	最上川水害発生。鶴岡市消防本部管内でも多数の被害が発生。
11月30日	1 2誘導心電図伝送システム運用開始
令和 3年 3月 4日	消防ポンプ自動車CD-I型を購入（更新）消防署に配備
3月19日	高規格救急自動車を購入（更新）朝日分署に配備
8月24日	藤島分署新庁舎開署 （敷地面積 2,272.38㎡ 建築面積 479.48㎡ 鉄筋コンクリート造2階建て）
12月24日	消防ポンプ自動車CD-I型を購入（更新）櫛引分署に配備
令和 4年 3月24日	小型動力ポンプ付水槽車を購入 消防署に配備
12月12日	消防ポンプ自動車CD-I型を購入（更新）朝日分署に配備
12月31日	西目地内土砂災害発生
令和 5年 3月29日	高規格救急自動車を購入（更新）羽黒分署に配備

消防庁舎の現況

区分 署別	所在地	庁舎面積（㎡）				設置年月日	備考
		構造	建築面積	延面積	敷地面積		
消防本部 本署	鶴岡市美咲町36-1	鉄筋コンクリート造 5階建、一部鉄骨造	2,219.93	5,609.70	9,501.79	S24. 4. 1 H23. 4. 1	開設 新築移転
中央分署	鶴岡市文園町1-63	鉄筋コンクリート造 2階建	260.28	440.55	1,175.25	H23. 4. 1 H25. 4. 12	開設 新築移転
北分署	鶴岡市道形町12-17	〃 2階建	265.74	444.36	1,055.58	H28. 4. 15	開設
西分署	鶴岡市下川 字龍花崎41-697	〃 平屋建	437.77	437.77	2,551.42	H19. 12. 1	開設
温海分署	鶴岡市湯温海 字湯之尻289	〃 2階建	264.66	478.67	1,770.34	S49. 3. 28 H27. 4. 13	開設 新築移転
朝日分署	鶴岡市下名川 字落合9	〃 〃	197.30	240.16	854.19	S49. 3. 28	開設
羽黒分署	鶴岡市羽黒町荒川 字前田元89	〃 平屋建	433.54	416.58	7,399.13	S49. 10. 1 H28. 12. 2	開設 新築移転
藤島分署	鶴岡市藤島 字笹花51-1	〃 2階建	265.25	479.48	2,272.38	S49. 10. 1 R 3. 8. 24	開設 新築移転
櫛引分署	鶴岡市上山添 字文栄78-1	木造カラー鉄板葺 平屋建	178.20	178.20	458.12	S50. 10. 1 H 8. 2. 27	開設 新築移転
三川分署	三川町大字横山 字西田85-1	鉄筋コンクリート造 2階建	217.50	365.90	1,184.94	S50. 10. 1 H28. 3. 16	開設 新築移転

管内情勢

(R5.4.1現在)

区分 市町別	人 口 A (住民登 録)	世 帯 数	面 積 B km ²	人 口 密 度 A÷B	消 防 ポ ン プ 台 数	消 防 吏 員 1 人 当 り		消 防 ポ ン プ 車 1 台 当 り	
						人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数
鶴岡市	119,599	49,336	1,311.51	91.2	13	716	295	9,200	3,795
鶴岡	86,336	37,491	-	-	8	890	387	10,792	4,686
藤島	9,333	3,194	-	-	1	667	228	9,333	3,194
羽黒	7,418	2,567	-	-	1	530	183	7,418	2,567
櫛引	6,672	2,243	-	-	1	667	224	6,672	2,243
朝日	3,505	1,260	-	-	1	250	90	3,505	1,260
温海	6,335	2,581	-	-	1	352	143	6,335	2,581
三川町	7,134	2,480	33.22	214.8	1	713	248	7,134	2,480
合 計	126,733	51,816	1,344.73	94.2	14	716	293	9,052	3,701

月別気象情報

種別 月別	気 温 (°C)			湿 度 (%)			風 向 ・ 風 速 (m/s)				降 雨 量 (mm)	
	最高	最低	平均	最小	平均	実効 平均	平均 風速	最大風速		瞬間最大風速		
								風速	風向	風速		風向
1 月	7.5	-4.5	1.1	45.0	74.2	74.3	6.1	19.6	西	33.1	西	135.5
2 月	8.5	-5.9	1.0	42.3	74.0	74.1	5.4	17.5	西北西	31.3	西	104.0
3 月	17.5	-4.4	5.1	24.8	74.2	73.7	3.7	15.6	西北西	26.5	西南西	115.5
4 月	26.0	-1.6	10.7	21.7	69.2	68.9	2.6	15.1	西	25.7	西南西	66.5
5 月	34.5	4.7	16.3	20.0	67.8	67.4	2.9	11.9	西	20.9	西南西	63.5
6 月	31.8	12.2	20.4	46.8	78.8	78.1	3.5	13.1	北北西	23.6	北西	125.5
7 月	32.7	20.4	25.6	49.9	81.0	80.3	2.6	9.8	東南東	16.5	南東	133.0
8 月	34.7	15.9	25.2	45.2	83.2	82.7	2.3	15.3	西	25.1	西南西	293.0
9 月	34.6	9.5	22.3	40.7	80.7	80.6	2.2	14.6	北	27.1	北北西	133.0
10 月	27.0	2.8	14.5	31.1	79.4	79.2	2.2	11.1	西南西	20.2	西南西	161.0
11 月	21.0	0.9	10.6	36.8	75.9	75.8	2.9	12.0	北西	20.4	西北西	201.0
12 月	13.8	-2.0	3.6	42.6	78.8	79.1	5.2	17.7	西北西	29.5	西	340.5
年 間	34.7	-5.9	13.0	20.0	76.4	76.2	3.5	19.6	西	33.1	西南西	総雨量 1,872.0 月平均 156.0

協定書及び覚書締結状況

(R5.4.1 現在)

No.	協定及び覚書内容	協定及び覚書相手先	締結年月日
1	山形県広域消防相互応援協定	市町村・組合消防	S53.3.10～
2	月山及び筭沢地区並びに羽黒スキー場における火災・救急に関する覚書	酒田地区広域行政組合	S63.1.20～
3	月山トンネルにおける通信施設の一部使用及び管理に関する覚書	西村山広域行政事務組合・酒田河川国道事務所月山国道維持出張所	H5.2.3～
4	山形県消防広域応援隊に関する覚書	県内消防	H7.11.14～
5	山形県消防防災ヘリコプター応援協定	山形県・市町村・組合消防	H10.4.1～
6	都市ガス災害対策に関する覚書	鶴岡警察署・庄内中部ガス株式会社	H13.4.1～
7	救急救命士の行う特定行為に対する医師の指示に関する覚書	医療法人徳州会 山北徳州会病院	H13.5.1～
8	月山第一トンネル内における消防業務に関する覚書	西村山広域行政事務組合	H14.10.25～
9	救急車退出路の使用に関する覚書	東日本高速道路株式会社東北支社	H14.11.8～
10	山形県防災情報システムの設置及び管理運用に関する協定書	山形県	H14.11.29～
11	都市ガス災害対策に関する覚書	鶴岡警察署・鶴岡ガス株式会社	H16.5.31～
12	三川町と鶴岡市との間における消防事務の委託に関する協定	三川町	H19.4.1～
13	庄内空港及びその周辺における消火救護活動に関する協定書	山形県	H19.4.1～
14	消防相互応援協定(消防団)	村上市	H20.4.1～
15	鶴岡市 村上市 消防相互応援協定	村上市	H20.4.28～
16	救急業務に関する覚書	村上市	H20.4.28～
17	鉄道災害における消防機関と鉄道事業者の連携に関する覚書	県内消防・山辺町・中山町・鉄道株式会社5社	H21.10.1～
18	日本海東北自動車道における救急業務に関する覚書	酒田地区広域行政組合 東日本高速道路株式会社東北支社	H24.3.16～
19	山形自動車道における救急業務の覚書	酒田地区広域行政組合 東日本高速道路株式会社東北支社	H24.3.16～
20	山形自動車道及び日本海東北自動車道における消防相互応援に関する覚書	酒田地区広域行政組合	H24.3.24～
21	エボラ出血熱の患者の移送に係る協定書	山形県	H27.2.6～
22	災害時における消防用水等の供給支援に関する協定書	庄内生コンクリート協同組合	H30.2.7～
23	防火対象物の消防用設備等点検結果報告の情報提供にかかる協定書	全日本不動産協会山形県本部	R3.2.10～
24	防火対象物の消防用設備等点検結果報告の情報提供にかかる協定書	山形県宅地建物取引業協会	R3.2.10～
25	新型コロナウイルス感染症患者の移送に係る協定書	山形県	R2.8.5～
26	職員の派遣に関する協定書(防災航空隊)	山形県	R3.4.1～R6.3.31
27	覚書(防災航空隊)	山形県	R3.4.1
28	職員の派遣に関する協定書(県消防学校)	山形県	R4.4.1～R6.3.31

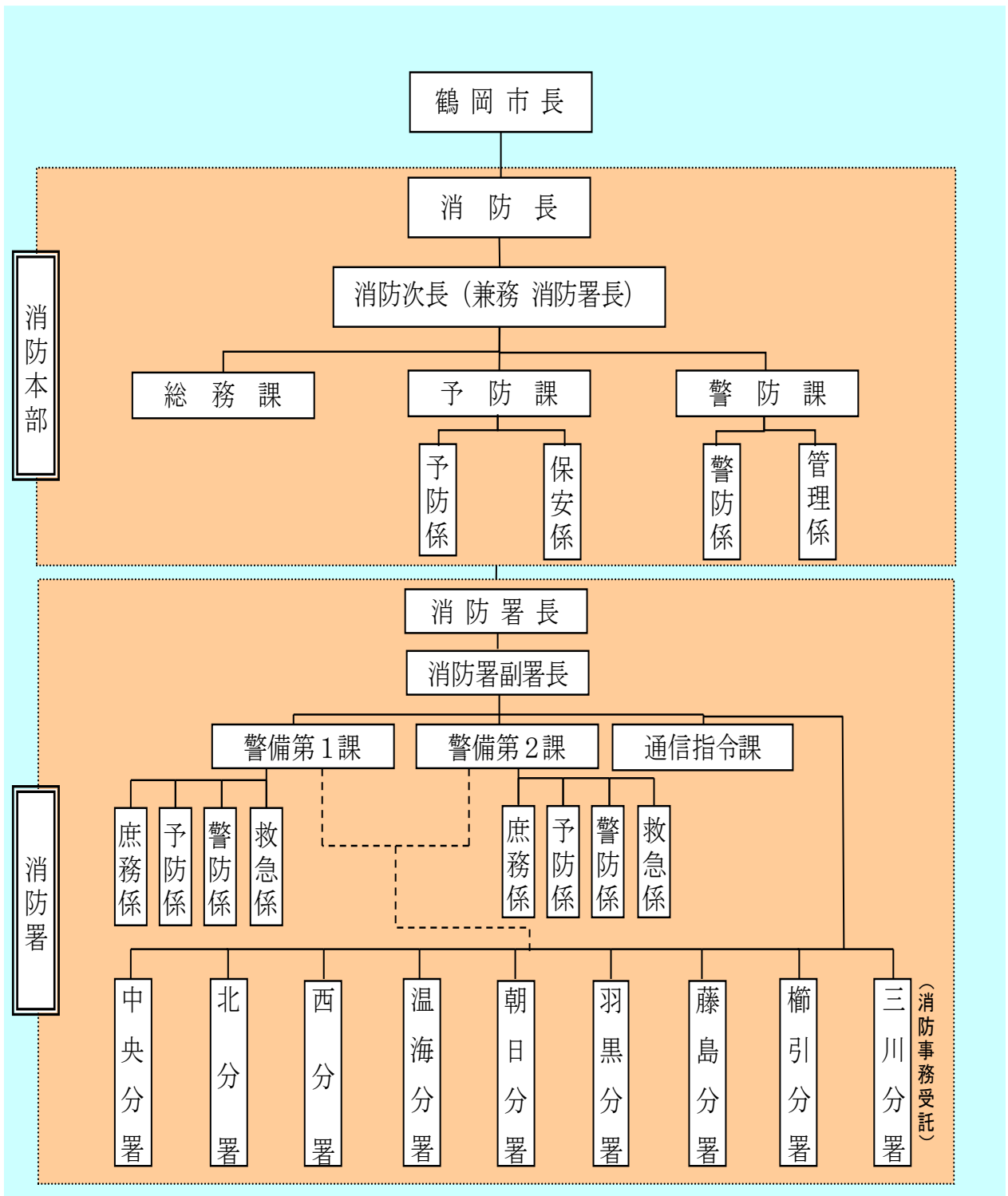
総務編



消防本部庁舎外観

組織

(R5. 4. 1 現在)



歴代消防長・消防次長・消防署長（R5.4.1 現在）

【鶴岡地区消防事務組合】

1 歴代消防長				2 歴代消防次長				3 歴代消防署長			
歴代	氏名	就任年月日	離任年月日	歴代	氏名	就任年月日	離任年月日	歴代	氏名	就任年月日	離任年月日
初代	今井林作	S48. 4. 1	S49. 3. 31	初代	本間文雄	S48. 4. 1	S52. 5. 31	初代	本間文雄	S48. 4. 1	S52. 5. 31
2代	朝岡仲次	S49. 4. 1	S52. 5. 31	2代	菅原保	S52. 6. 1	S59. 3. 31	2代	菅原保	S52. 6. 1	S57. 3. 31
3代	本間文雄	S52. 6. 1	S56. 3. 31	3代	蛸井佑吉	S59. 4. 1	S60. 3. 31	3代	蛸井佑吉	S57. 4. 1	S60. 3. 31
4代	北村敏男	S56. 4. 1	S60.12.24	4代	皆川亮	S60. 4. 1	H 2. 3. 31	4代	皆川亮	S60. 4. 1	H 2. 3. 31
5代	佐々木敬輔	S60.12.25	S63. 3. 31	5代	田澤光廣	H 2. 4. 1	H 7. 3. 31	5代	本間昭彦	H 2. 4. 1	H 7. 3. 31
6代	今野陽三	S63. 4. 1	H 5. 3. 31	6代	青柳孝治	H 7. 4. 1	H 9. 3. 31	6代	板垣壮典	H 7. 4. 1	H10. 3. 31
7代	伊藤秀文	H 5. 4. 1	H 7. 3. 31	7代	板垣壮典	H 9. 4. 1	H10. 3. 31	7代	佐藤均	H10. 4. 1	H12. 3. 31
8代	本間昭彦	H 7. 4. 1	H 9. 3. 31	8代	中村良一	H10. 4. 1	H11. 3. 31	8代	佐藤丈彦	H12. 4. 1	H16. 3. 31
9代	鈴木壽和	H 9. 4. 1	H11. 3. 31	9代	佐藤均	H11. 4. 1	H12. 3. 31	9代	遠見昌圀	H16. 4. 1	H17. 3. 31
10代	中村良一	H11. 4. 1	H13. 3. 31	10代	佐藤弘	H12. 4. 1	H13. 3. 31	10代	眞田荘左エ門	H17. 4. 1	H19. 3. 31
11代	佐藤弘	H13. 4. 1	H16. 3. 31	10代	佐藤丈彦	H12. 4. 1	H16. 3. 31				
12代	長谷川政敏	H16. 4. 1	H19. 3. 31	11代	今野孝彦	H13. 4. 1	H15. 3. 31				
				12代	遠見昌圀	H15. 4. 1	H17. 3. 31				
				13代	眞田荘左エ門	H16. 4. 1	H19. 3. 31				

【鶴岡市消防本部】

1 歴代消防長				2 歴代消防次長				3 歴代消防署長			
歴代	氏名	就任年月日	離任年月日	歴代	氏名	就任年月日	離任年月日	歴代	氏名	就任年月日	離任年月日
初代	白井宗雄	H19. 4. 1	H21. 3. 31	初代	工藤照治	H19. 4. 1	H21. 3. 31	初代	工藤照治	H19. 4. 1	H21. 3. 31
2代	板垣博	H21. 4. 1	H24. 3. 31	2代	澁谷力	H21. 4. 1	H23. 3. 31	2代	澁谷力	H21. 4. 1	H23. 3. 31
3代	秋庭一生	H24. 4. 1	H27. 3. 31	3代	難波正広	H23. 4. 1	H26. 3. 31	3代	難波正広	H23. 4. 1	H26. 3. 31
4代	神林只男	H27. 4. 1	H28. 3. 31	4代	神林只男	H26. 4. 1	H27. 3. 31	4代	神林只男	H26. 4. 1	H27. 3. 31
5代	長谷川幸吉	H28. 4. 1	H31. 3. 31	5代	佐藤巖	H27. 4. 1	H28. 3. 31	5代	佐藤巖	H27. 4. 1	H28. 3. 31
6代	佐藤利洋	H31. 4. 1	R 2. 3. 31	6代	丸山博	H28. 4. 1	H29. 3. 31	6代	丸山博	H28. 4. 1	H29. 3. 31
7代	大川治	R 2. 4. 1	R 4. 3. 31	7代	渡部徹	H29. 4. 1	H31. 3. 31	7代	渡部徹	H29. 4. 1	H31. 3. 31
8代	岡部信宏	R 4. 4. 1	現在	8代	大川治	H31. 4. 1	R 2. 3. 31	8代	大川治	H31. 4. 1	R 2. 3. 31
				9代	今野伸	R 2. 4. 1	R 5. 3. 31	9代	今野伸	R 2. 4. 1	R 5. 3. 31
				10代	五十嵐多樹夫	R 5. 4. 1	現在	10代	五十嵐多樹夫	R 5. 4. 1	現在

令和5年度 当初予算

1 年度当初予算の比較

区 分	5年度当初予算 (千円)	4年度当初予算 (千円)	対 前年比		
			金 額(千円)	割 合(%)	
一般会計総額	70,700,000	71,773,000	△ 1,073,000	98.51	
消防費	2,372,755	2,161,482	211,273	109.8	
(対 一般会計構成比)	3.4	3.0	—	—	
消 防 費 の 内 訳	常備消防費	2,018,016	1,836,837	181,179	109.9
	非常備消防費	224,394	192,949	31,445	116.3
	消防施設費	86,281	86,528	△ 247	99.7
	水防費	799	928	△ 129	86.1
	災害対策費	37,619	39,046	△ 1,427	96.3
	遭難対策費	5,646	5,194	452	108.7

2 過去5年間の歳出決算額(一般会計との比較)

年度	一 般 会 計 (千円)	消 防 費 (千円)	対 一般会計 構成比 (%)
平成29	71,667,120	2,242,192	3.1
平成30	65,340,000	2,302,097	3.5
令和元	74,834,750	2,472,457	3.3
令和2	91,074,154	2,279,193	2.5
令和3	77,276,042	2,483,768	3.2

職員採用状況

(R5. 4. 1 現在)

年 度	職員定数	採用者数	年 度	職員定数	採用者数	年 度	職員定数	採用者数
昭和48	117 名	30 名	平成 3	187 名	11 名	平成21	203 名	5 名
昭和49	144 名	28 名	平成 4	187 名	12 名	平成22	203 名	4 名
昭和50	168 名	25 名	平成 5	194 名	9 名	平成23	203 名	4 名
昭和51	168 名	0 名	平成 6	197 名	11 名	平成24	207 名	10 名
昭和52	176 名	10 名	平成 7	197 名	8 名	平成25	207 名	8 名
昭和53	182 名	8 名	平成 8	201 名	6 名	平成26	207 名	12 名
昭和54	189 名	9 名	平成 9	203 名	5 名	平成27	207 名	10 名
昭和55	190 名	1 名	平成10	203 名	6 名	平成28	207 名	10 名
昭和56	190 名	2 名	平成11	203 名	1 名	平成29	207 名	10 名
昭和57	190 名	2 名	平成12	203 名	5 名	平成30	207 名	5 名
昭和58	190 名	2 名	平成13	203 名	1 名	平成31	207 名	6 名
昭和59	190 名	4 名	平成14	203 名	5 名	令和 2	207 名	10 名
昭和60	190 名	2 名	平成15	203 名	4 名	令和 3	207 名	4 名
昭和61	190 名	3 名	平成16	203 名	4 名	令和 4	207 名	4 名
昭和62	187 名	1 名	平成17	203 名	5 名	令和 5	207 名	3 名
昭和63	187 名	2 名	平成18	203 名	3 名			
平成元	187 名	4 名	平成19	203 名	8 名			
平成 2	188 名	7 名	平成20	203 名	3 名			

令和 5 年度 消防学校等入校計画

1 山形県消防学校

初任科	4月5日 ~ 9月15日	163日間	3名
救助科	9月27日 ~ 10月26日	30日間	2名
救急科	10月30日 ~ 12月22日	54日間	8名
予防査察科	1月10日 ~ 1月30日	21日間	2名
警防科	2月5日 ~ 2月22日	18日間	2名
救急救命士継続教育	3月5日 ~ 3月7日	3日間	4名

2 救急救命士養成

救急救命東京研修所 (前期)	4月5日 ~ 9月29日	197日間	1名
	2月13日 ~ 3月2日		
救急救命東京研修所 (後期)	9月 2日 ~ 3月20日	197日間	1名

3 消防大学校

救助科	4月19日 ~ 6月19日	52日間	1名
緊援隊指揮隊長コース	4月20日 ~ 5月2日	13日間	1名

消防職員配置状況

(R5. 4. 1 現在)

階級別		消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	の消防吏員以外	合計	
所属別		1									1	
消防長		1									1	
消防本部	消防次長		1								1	
	総務課			1	1	3	1		1	1	8	
	予防課			1	3	1	1	2			8	
	警防課			1	2	2		1		1	7	
消防署長			(1)								(1)	
消防副署長				1							1	
消防署	本署	警備第1課		(2) 1	7	2	3	6	2		(2) 21	
		警備第2課		(1) 2	4	5	4	7	1		(1) 23	
		通信指令課			1	5	1	3			10	
	分署	中 央			1	3	2	5	5	2		18
		北			1	2	2	4	4	1		14
		西				4	3	4	5	2		18
		温 海				4	2	3	8	1		18
		朝 日				4	1	1	6	2		14
		羽 黒				3	3	2	5	1		14
		藤 島				3	2	4	3	2		14
		櫛 引				2	2	1	1	4		10
		三 川				3	2	1		4		10
合 計		1	(1) 1	(3) 10	50	33	37	53	23	2	(4) 210	

(注) 1 ()は兼務

2 総務課配置の職員2名を、山形県消防防災航空隊(消防司令補)及び山形県消防学校(消防司令補)に派遣

年齢別消防職員数

(R5. 4. 1 現在)

階級別	合計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	の消防吏員以外
年齢別										
平均年齢	37.5	59.0	58.0	54.9	50.3	43.7	35.7	27.9	22.7	51.3
年齢合計	7,867	59	58	494	2,412	1,616	964	1,452	658	154
吏員数	210	1	1	10	50	33	37	53	23	2
18才～20才	6								6	
21才～25才	23							10	13	
26才～30才	32							29	3	
31才～35才	27						12	14	1	
36才～40才	27					3	24			
41才～45才	16					15	1			
46才～50才	36				19	15				2
51才～55才	31			5	26					
56才以上	12	1	1	5	5					

在職年数別消防職員数

(R5. 4. 1 現在)

階級別 年別	合計	消 防 吏 員								消 防 吏 員 以 外 の 職 員
		消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
職員数	210	1	1	10	50	33	37	53	23	2
5年未満	27						1	4	22	
5年以上 10年未満	47						5	41	1	
10年以上 15年未満	24						16	8		
15年以上 20年未満	17					3	14			
20年以上 25年未満	16					14	1			1
25年以上 30年未満	28				12	15				1
30年以上	51	1	1	10	38	1				

消防職員数の推移

(R5. 4. 1 現在)

階級別 年別	合計	消 防 吏 員								消 防 吏 員 以 外 の 職 員
		消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
平成17年	203	1	1	6	38	54	26	56	19	2
平成18年	203	1	1	6	37	55	28	53	21	1
平成19年	202	1	1	6	35	60	26	49	23	1
平成20年	202	1	1	8	45	46	29	49	22	1
平成21年	201	1	1	8	45	43	30	48	24	1
平成22年	202	1	1	8	44	44	30	49	23	2
平成23年	203	1	1	8	44	47	30	47	23	2
平成24年	206	1	1	8	44	43	33	46	25	5
平成25年	206	1	1	8	40	48	42	30	31	5
平成26年	206	1	1	9	38	50	38	28	38	3
平成27年	205	1	1	9	36	56	30	26	43	3
平成28年	206	1	1	9	31	57	33	23	48	3
平成29年	204	1	1	10	33	54	27	32	43	3
平成30年	207	1	1	10	43	46	26	38	39	3
平成31年 令和元年	206	1	1	9	47	43	26	45	31	3
令和 2年	207	1	1	9	47	41	24	48	33	3
令和 3年	207	1	1	9	48	37	27	52	29	3
令和 4年	209	1	1	10	49	35	31	54	26	2
令和 5年	210	1	1	10	50	33	37	53	23	2

各種免許・特殊技能等資格取得状況

(R5. 4. 1 現在)

免許の種類別		所有人数
自動車運転転免許	大型	166
	中型	26
	準中型	8
	普通 (大型等所持者を除く)	11
	二輪(大型含む)	83
予防技術者	防火査察専門員	61
	消防用設備等専門員	24
	危険物専門員	18
消設備防士	甲種	7
	乙種	43
消防設備点検資格者		1
危険扱物者	甲種	5
	乙種	152
	丙種	7
火薬類	甲種取扱保安責任者	1
	乙種取扱保安責任者	0
毒物劇物取扱責任者		3
特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者		9
有機溶剤作業主任者		5

免許の種類別		所有人数
衛生管理者		23
特殊無線技士		142
救急	指導救命士	2
	救急救命士	48
	気管挿管認定救命士	34
	薬剤投与認定救命士	46
	エピネフリン製剤使用講習修了救命士	43
救急隊員資格者(救命士除く)		146
赤十字水上安全法救助員		9
移動式クレーン運転士		89
玉掛け技能		84
溶接技能者		26
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者		22
高圧ガス製造保安責任者		2
小型船舶操縦免許		94
特殊小型船舶操縦免許		81
潜水士		103
ダイビングライセンス		40
特別管理産業廃棄物管理責任者		4

音楽隊編成表

(R5. 4. 1 現在)

担当	指揮者	フルート	クラリネット	アルトサクソ	ソプラノサクソ	テナーサクソ	バリトンサクソ	トランペット	ホルン	トロンボーン	ユーフォニアム	パーカッション	スーザホン
26人	1	2	5	2	0	1	1	4	3	2	1	3	1

予 防 編



火災現場の様子

防火活動状況

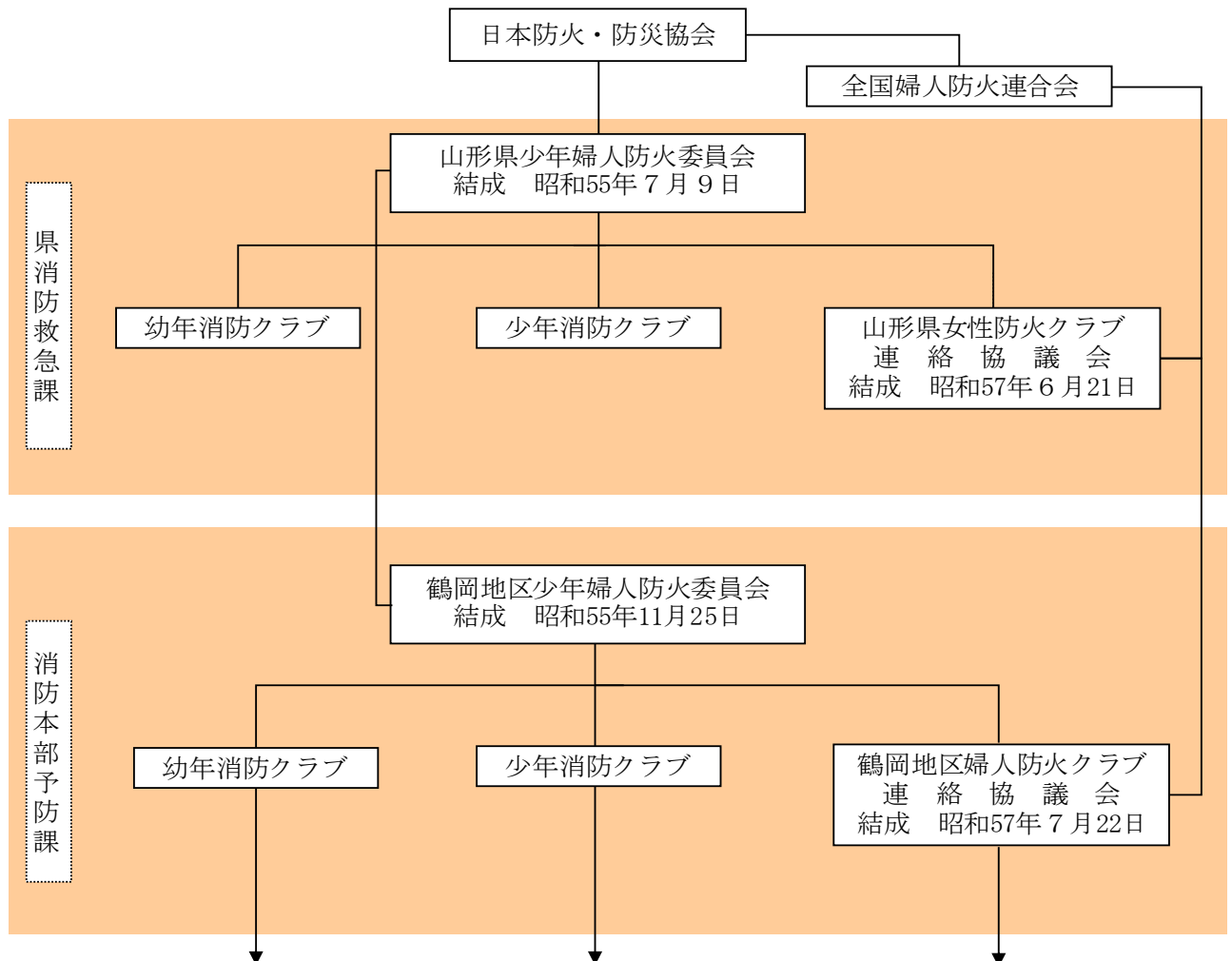
1 防火研修会及び消防訓練実施状況

(R4. 4. 1~R5. 3. 31)

指導派遣 区分 市町別	回 数			参 加 人 数			職 員 派 遣 人 数		
	防火研修会	訓 練	計	防火研修会	訓 練	計	防火研修会	訓 練	計
鶴 岡 市	35	951	986	1,313	35,816	37,129	79	1,069	1,148
鶴 岡	32	687	719	1,244	26,121	27,365	74	568	642
藤 島		53	53		1,621	1,621		126	126
羽 黒		57	57		2,732	2,732		110	110
櫛 引	2	52	54	59	2,635	2,694	4	100	104
朝 日		32	32		835	835		69	69
温 海	1	70	71	10	1,872	1,882	1	96	97
三 川 町	1	105	106	39	4,134	4,173		137	137
合 計	36	1,056	1,092	1,352	39,950	41,302	79	1,206	1,285

2 幼年消防クラブ・少年消防クラブ・婦人防火クラブ組織状況

(R5. 4. 1 現在)



		幼 年 消 防 ク ラ ブ	少 年 消 防 ク ラ ブ	婦 人 防 火 ク ラ ブ
鶴 岡 市	鶴岡	団体数 9 897 名	団体数 9 165 名	団体数 2 100 名 湯野浜地区婦人防火クラブ 斎地区婦人防火クラブ 結成 昭和59年10月 9日
	藤島	団体数 1 63 名	—	団体数 1 2,749 名 藤島地域婦人防火クラブ 結成 昭和58年 3月 21日
	羽黒	団体数 1 102 名	—	—
	楡引	団体数 1 55 名	団体数 2 31 名	団体数 1 61 名 楡引地域婦人防火クラブ 結成 昭和59年 1月 12日
	朝日	—	団体数 3 33 名	—
	温海	団体数 1 58 名	—	—
三川町	団体数 1 144 名	—	団体数 1 9 名 三川町女性防火クラブ 結成 昭和59年 3月 2日	
計	団体数 14 1,319 名	団体数 14 229 名	団体数 5 2,919 名	

防火管理

防火管理者を定めなければならない防火対象物及び選任対象物

(R5. 3. 31 現在)

市町別 防火対象物の区分		鶴岡市														三川町		合 計	
		鶴岡		藤島		羽黒		櫛引		朝日		温海		防火対象物数	選任対象物数	防火対象物数	選任対象物数		
		防火対象物数	選任対象物数	防火対象物数	選任対象物数	防火対象物数	選任対象物数	防火対象物数	選任対象物数	防火対象物数	選任対象物数	防火対象物数	選任対象物数						
(1)	イ 劇場等	8	8	6	6			1	1			1	1			1	1	9	9
	ロ 公会堂等	61	61	36	36	9	9	6	6	3	3	5	5	2	2	4	4	65	65
(2)	イ キャバレー等																		
	ロ 遊技場等	11	11	11	11											3	3	14	14
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等																		
	ニ カラオケボックス等	2	2	2	2													2	2
(3)	イ 料理店等	4	4	3	3	1	1											4	4
	ロ 飲食店	112	106	91	86	1	1	7	7	3	3	3	2	7	7	5	5	117	111
(4)	百貨店等	185	184	153	152	10	10	5	5	8	8	7	7	2	2	21	21	206	205
(5)	イ 旅館等	97	97	57	57	2	2	24	24	1	1	11	11	2	2			97	97
	ロ 共同住宅等	10	9	10	9													10	9
(6)	イ 病院等	26	25	24	23	1	1			1	1					2	2	28	27
	ロ 養護老人ホーム等	49	48	33	32	1	1	6	6	6	6	1	1	2	2	4	4	53	52
	ハ 老人デイサービス等	80	76	61	58	3	3	4	4	8	8	3	2	1	1	3	3	83	79
	ニ 幼稚園等	9	9	7	7	1	1			1	1							9	9
(7)	学校	48	48	32	32	5	5	1	1	6	6	2	2	2	2	4	4	52	52
(8)	図書館等	4	4	3	3									1	1			4	4
(9)	イ 特殊浴場																		
	ロ 一般浴場	1	1	1	1													1	1
(10)	停車場等																		
(11)	神社・寺院等	90	90	59	59	13	13	3	3	4	4	6	6	5	5	8	8	98	98
(12)	イ 工場等	53	53	39	39	3	3	4	4	4	4	1	1	2	2	4	4	57	57
	ロ スタジオ																		
(13)	イ 駐車場等	1	1	1	1													1	1
	ロ 航空機格納庫																		
(14)	倉庫																		
(15)	事務所等	143	138	91	87	10	10	3	3	12	11	17	17	10	10	16	16	159	154
(16)	イ 特定複合用途防火対象物	135	118	99	87	5	3	7	7	7	7	10	8	7	6	12	12	147	130
	ロ 一般複合用途防火対象物	21	18	11	10			4	3	3	3	2	1	1	1	4	4	25	22
(16の2)	地下街																		
(16の3)	準地下街																		
(17)	文化財	11	11	4	4	1	1	4	4	1	1			1	1			11	11
合 計		1,161	1,122	834	805	66	64	79	78	68	67	69	64	45	44	91	91	1,252	1,213

1 査察対象事業所等状況

(R5. 3. 31 現在)

査察区分	用途・規模等	査察 執行基準	査察対象物数		
			防火対象物	危険物施設	合計
第 1 種	(1) 消防法第 8 条の 2 の 2 第 1 項に規定する防火対象物定期点検報告制度に該当する対象物のうち、消防法第 8 条の 2 の 3 第 1 項に規定する特例認定を受けない防火対象物 (2) 危険物製造所等のうち、製造所、移動タンク貯蔵所及び給油取扱所	1年に 1回以上	143	221	364
第 2 種 (第 1 種に該当するものを除く。)	(1) 消防法第 8 条の 2 の 2 第 1 項に規定する防火対象物定期点検報告制度に該当する対象物のうち、消防法第 8 条の 2 の 3 第 1 項に規定する特例認定を受けた防火対象物 (2) 消防法施行令第 11 条第 1 項及び第 2 項の規定の適用を受ける特定防火対象物 (3) 危険物製造所等	3年に 1回以上	252	372	624
第 3 種 (第 1 種又は第 2 種に該当するものを除く。)	消防法施行令第 21 条第 1 項の規定の適用を受ける防火対象物	5年に 1回以上	1,067	0	1,067
第 4 種 (第 1 種から第 3 種までのいずれかに該当するものを除く。)	鶴岡市火災予防条例施行規則（平成 19 年規則第 5 号）第 4 条に規定する面積以上の防火対象物	火災の発生状況等から総合的に判断して実施する	1,816	0	1,816
合計			3,278	593	3,871

※ 1 特定防火対象物とは、映画館・飲食店・百貨店・旅館・病院等消防法施行令別表第 1 (1) 項から (4) 項、(5) 項イ、(6) 項、(9) 項イ、(16) 項イ、(16の 2) 項及び(16の 3) 項の用途に供するものをいう。

※ 2 非特定防火対象物とは、特定防火対象物以外のものをいう。

2 防火対象物定期点検報告制度対象物数

(R5. 3. 31 現在)

対象物の区分		市町別							三川町	合計	
		鶴岡市	鶴岡	藤島	羽黒	櫛引	朝日	温海			
(1)	イ	劇場等	7	6		1			1	8	
	ロ	公会堂等	61	36	7	6	4	3	5	3	64
(2)	ロ	遊技場等	9	9					3	12	
(2)	一	カラオケボックス等	1	1						1	
(3)	ロ	飲食店	4	3		1			1	5	
(4)		百貨店等	47	37	6		2		2	10	57
(5)	イ	旅館等	33	25		2			6		33
(6)	イ	病院等	7	6			1			3	10
	ロ	養護老人ホーム等	4	1	3					1	5
	ハ	老人デイサービスセンター等	1		1						1
	二	幼稚園等	1	1							1
(16)	イ	特定複合用途防火対象物	31	26	2	3				4	35
合計			206	151	19	13	7	3	13	26	232

3 防災管理点検報告制度対象物数

(R5. 3. 31 現在)

対象物の区分		市町別							三川町	合計	
		鶴岡市	鶴岡	藤島	羽黒	櫛引	朝日	温海			
(5)	イ	旅館等	1						1		1
(6)	イ	病院等	1	1							1
(7)		学校	1	1							1
(12)	イ	工場等	1	1							1
合計			4	3					1		4

4 防火対象物の現況と査察実施状況

(R4. 4. 1~R5. 3. 31)

防火対象物の区分		市町別														合 計			
		鶴岡市																三川町	
		鶴岡		藤 島		羽 黒		櫛 引		朝 日		温 海		防 火 対 象 物 数	延 対 象 物 査 察 実 施 数				
防 火 対 象 物 数	延 対 象 物 査 察 実 施 数	防 火 対 象 物 数	延 対 象 物 査 察 実 施 数	防 火 対 象 物 数	延 対 象 物 査 察 実 施 数	防 火 対 象 物 数	延 対 象 物 査 察 実 施 数	防 火 対 象 物 数	延 対 象 物 査 察 実 施 数	防 火 対 象 物 数	延 対 象 物 査 察 実 施 数	防 火 対 象 物 数	延 対 象 物 査 察 実 施 数	防 火 対 象 物 数	延 対 象 物 査 察 実 施 数	防 火 対 象 物 数	延 対 象 物 査 察 実 施 数		
(1)	イ 劇 場 等	10	10	7	6		1	1	1	1	1		1	1		1		11	10
	ロ 公 会 堂 等	78	62	42	30	12	11	10	9	4	2	4	4	6	6	5	4	83	66
(2)	イ キ ャ バ レ ー 等	1		1														1	
	ロ 遊 技 場 等	13	4	13	4											3	3	16	7
	ハ 性 風 俗 関 連 特 殊 営 業 を 営 む 店 舗 等																		
	ニ カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	2		2														2	
(3)	イ 料 理 店 等	4		3		1												4	
	ロ 飲 食 店	132	23	102	17	3		10	3	4	1	8	2	5		6	1	138	24
(4)	百 貨 店 等	276	70	219	53	17	4	12	3	11	3	6	4	11	3	22	14	298	84
(5)	イ 旅 館 等	160	58	96	32	2	2	29	3	5	4	5	1	23	16	5	5	165	63
	ロ 共 同 住 宅 等	673	21	651	16	1		7	2	3		2	2	9	1	15	3	688	24
(6)	イ 病 院 等	88	18	75	16	2	1	1		5	1	2		3		6		94	18
	ロ 養 護 老 人 ホ ー ム 等	88	32	53	15	5	3	14	6	10	4	5	4	1		8		96	32
	ハ 老 人 デ イ サ ー ビ ス 等	144	34	110	29	5	1	10	2	11	1	4	1	4		6		150	34
	ニ 幼 稚 園 等	18	3	16	3	1				1						1		19	3
(7)	学 校	133	37	81	15	14	9	17	10	10		4	3	7		15		148	37
(8)	図 書 館 等	10	3	3	1	1	1	3	1	2		1						10	3
(9)	イ 特 殊 浴 場																		
	ロ 一 般 浴 場	3	1	2					1			1				1	2	4	3
(10)	停 車 場 等																		
(11)	神 社 ・ 寺 院 等	124	11	82	4	14	1	8	3	7		7	3	6		9		133	11
(12)	イ 工 場 等	859	156	532	80	109	26	38	3	103	29	29	9	48	9	80	23	939	179
	ロ ス タ ジ オ																		
(13)	イ 駐 車 場 等	99	17	56	11	9	2	11		12	2	11	2			13		112	17
	ロ 航 空 機 格 納 庫																		
(14)	倉 庫	369	67	245	39	45	13	19	4	33		15	8	12	3	31	5	400	72
(15)	事 務 所 等	628	81	363	44	64	6	71	4	51	10	34	14	45	3	70	8	698	89
(16)	イ 特 定 複 合 用 途 防 火 対 象 物	143	54	114	43	4	4	7		7	2	3	3	8	2	12	4	155	58
	ロ 一 般 複 合 用 途 防 火 対 象 物	79	15	58	9	3	2	4	3	7		4	1	3		4		83	15
(16)2)	地 下 街																		
(16)3)	準 地 下 街																		
(17)	文 化 財	34	33	17	14	2	2	11	16	2	1	2						34	33
(18)	ア ー ケ ー ド																		
合 計		4,168	810	2,943	481	314	89	283	74	289	61	147	62	192	43	313	72	4,481	882

5 建築確認同意事務処理状況

(R4. 4. 1~R5. 3. 31)

防火対象物の区分		市町別						三川町	合計	
		鶴岡市	鶴岡	藤島	羽黒	榑引	朝日			温海
(1)	イ 劇場等									
	ロ 公会堂等	1	1						1	
(2)	イ キャバレー等									
	ロ 遊技場等									
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等									
(3)	ニ カラオケボックス等									
	イ 料理店等									
(4)	ロ 飲食店	7	7						7	
	イ 百貨店等	7	7					1	8	
(5)	イ 旅館等									
	ロ 共同住宅等	5	5						5	
(6)	イ 病院等	2	2						2	
	ロ 養護老人ホーム等									
	ハ 老人デイサービス等	2	2						2	
	ニ 幼稚園等									
(7)	学 校	3	3						3	
(8)	図 書 館 等									
(9)	イ 特殊浴場									
	ロ 一般浴場									
(10)	停 車 場 等									
(11)	神 社 ・ 寺 院 等	1	1						1	
(12)	イ 工場等	18	15			3		1	19	
	ロ スタジオ									
(13)	イ 駐 車 場 等	9	8			1			9	
	ロ 航空機格納庫									
(14)	倉 庫	6	4	2					6	
(15)	事 務 所 等	26	17	1	4	3		1	27	
(16)	イ 特定複合用途防火対象物	3	3						3	
	ロ 一般複合用途防火対象物	6	1			5			6	
(16の2)	地 下 街									
(16の3)	準 地 下 街									
(17)	文 化 財									
(18)	ア ー ケ ー ド									
	危 険 物 施 設	4	4						4	
	その他(小規模事業所・住宅)	203	168	13	15	3		4	5	208
	合 計	303	248	16	19	15		5	8	311

危険物規制

1 危険物施設現況数

(R5. 3. 31 現在)

施設区分 市町別	製造所	貯 蔵 所								取 扱 所			合 計	
		屋内貯蔵所	屋外タンク	貯蔵タンク	地下タンク	貯蔵タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外貯蔵所	計	給油取扱所	一般取扱所		計
鶴岡市	1	51	37	10	200			132	3	433	87	103	190	624
鶴岡	1	39	24	7	118			79		267	49	62	111	379
藤島		3	4		18			14		39	6	11	17	56
羽黒		1	2	1	16			8	2	30	4	7	11	41
櫛引		6	2		11			8		27	5	7	12	39
朝日			2	1	16			11	1	31	7	9	16	47
温海		2	3	1	21			12		39	16	7	23	62
三川町		8	3		17			12		40	4	3	7	47
合 計	1	59	40	10	217			144	3	473	91	106	197	671

2 危険物施設の許認可等状況

(R4. 4. 1~R5. 3. 31)

施設区分 処理状況	製造所	貯 蔵 所								取 扱 所			合 計		
		屋内貯蔵所	屋外タンク	貯蔵タンク	地下タンク	貯蔵タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外貯蔵所	計	給油取扱所	一般取扱所		計	
設置許可				1					10	1	12	1	2	3	15
変更許可			2				3		7		12	13	8	21	33
設置完成検査	1			1					10	1	12	1	2	3	16
変更完成検査			2				3		7		12	12	8	20	32

液体危険物タンクの完成検査前検査									
水 張 検 査					水 圧 検 査				
10KL以下	10KLを超え 1,000KL以下	1,000KLを超え 2,000KL以下	2,000KLを 超えるもの	合 計	600L以下	600Lを超え 10KL以下	10KLを超え 20KL以下	20KLを 超えるもの	合 計
	1			1		4			4

仮 使 用												合 計	仮貯蔵	仮取扱
製造所	貯 蔵 所							取 扱 所						
	屋内貯蔵所	屋外タンク	貯蔵タンク	地下タンク	貯蔵タンク	移動タンク	屋外貯蔵所	計	給油取扱所	一般取扱所	計			
	1			2				3	11	6	17	20	1	4

3 年度別危険物施設数

(過去5年間)

施設区分 年度別	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所			合 計
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	地 下 貯 蔵 所	簡 易 貯 蔵 所	移 動 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	計	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所	計	
平成30年度		57	44	14	234		159	4	512	91	110	201	713
令和元年度		59	44	11	229		148	3	494	92	108	200	694
令和2年度		61	44	11	228		143	3	490	92	108	200	690
令和3年度		59	41	11	221		141	2	475	92	106	198	673
令和4年度	1	59	40	10	217		144	3	473	91	106	197	671

4 危険物施設立入検査実施状況

(R4. 4. 1~R5. 3. 31)

施設区分 市町別	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所			合 計		
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	地 下 貯 蔵 所	簡 易 貯 蔵 所	移 動 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	計	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所	計			
鶴 岡 市	施 設 数	1	51	37	10	200		132	3	433	87	103	190	624	
	延査察実施数		17	12	3	80		115	1	228	77	34	111	339	
	鶴岡	施 設 数	1	39	24	7	118		79		267	49	62	111	379
	延査察実施数		15	8	2	42		72		139	43	20	63	202	
	藤島	施 設 数		3	4		18		14		39	6	11	17	56
	延査察実施数			2		13		11		26	6	6	12	38	
	羽黒	施 設 数		1	2	1	16		8	2	30	4	7	11	41
	延査察実施数					7		8	1	16	3	1	4	20	
	櫛引	施 設 数		6	2		11		8		27	5	7	12	39
	延査察実施数		2			5		7		14	4	2	6	20	
	朝日	施 設 数			2	1	16		11	1	31	7	9	16	47
	延査察実施数					4		8		12	5	2	7	19	
	温海	施 設 数		2	3	1	21		12		39	16	7	23	62
	延査察実施数			2	1	9		9		21	15	3	18	39	
三川町	施 設 数		8	3		17		12		40	4	3	7	47	
	延査察実施数		3	2		5		12		22	4	1	5	27	
合 計	施 設 数	1	59	40	10	217		144	3	473	91	106	197	671	
	延査察実施数		20	14	3	85		127	1	250	81	35	116	366	

火災統計

1 火災の概況

(前年比較)

区 分	単位	令和4年 (A)	令和3年 (B)	増 減 (A) - (B) = (C)	増 減 率(%) (C) ÷ (B) × 100
出 火 件 数	件	34	42	△ 8	△ 19.0
建 物		24	22	2	9.1
林 野		1	3	△ 2	△ 66.7
車 両		4	5	△ 1	△ 20.0
船 舶 そ の 他		5	12	△ 7	△ 58.3
焼 損 棟 数	棟	27	36	△ 9	△ 25.0
全 焼		9	15	△ 6	△ 40.0
半 焼		3	4	△ 1	△ 25.0
部 分 焼 ぼ や		7 8	6 11	1 △ 3	16.7 △ 27.3
建物焼損床面積	㎡	1,776	2,430	△ 654	△ 26.9
建物火災1件当たりの 焼損床面積		74.0	110.5	△ 36.5	△ 33.0
建物焼損表面積		92	139	△ 47	△ 33.8
林野焼損面積	a	4	123	△ 119	△ 96.7
死 者	人	3	4	△ 1	△ 25.0
負 傷 者		9	4	5	125.0
り 災 世 帯 数	世帯	13	15	△ 2	△ 13.3
り 災 人 員	人	33	46	△ 13	△ 28.3
損 害 額	千円	61,380	49,089	12,291	25.0
建 物		60,403	46,775	13,628	29.1
林 野			408	△ 408	皆減
車 両		948	1,318	△ 370	△ 28.1
船 舶 そ の 他		29	588	△ 559	△ 95.1
爆 発					—
火災1件当たりの 損 害 額		1,805	1,169	636	54.4
出 火 率		2.6	3.2	△ 0.6	—

- (注) 1 「死者」には、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者を含む。以下ことわりのない限り同じ。
- 2 出火率とは、人口1万人当たりの出火件数をいう。以下ことわりのない限り同じ。
- 3 △は、負数を表す。以下ことわりのない限り同じ。
- 4 損害額の増減、増減率は、表示単位未満を四捨五入した数値により計算した。以下ことわりのない限り同じ。
- 5 火災が2種以上にわたった場合、火災件数は損害額の大きい方で計上し、損害額は火災による損害を受けたものの火災種別ごとに計上している。以下ことわりのない限り同じ。
- 6 「爆発」による損害額については、火災の種別に関わらず、「損害額」中の「爆発」に計上している。以下ことわりのない限り同じ。
- 7 合計欄の値が四捨五入により各値の合計と一致しない場合がある。以下ことわりのない限り同じ。

2 市町及び地域別火災発生状況

比較	区分	件数	火災種別					焼損棟数					焼損面積		
			建物	林野	車両	船舶	その他	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	建物焼損床面積(m ²)	建物焼損表面積(m ²)	林野(a)
鶴岡市	4年	32	22	1	4		5	8	2	6	8	24	1,678	91	4
	3年	38	20	3	4		11	14	4	5	10	33	2,241	132	123
鶴岡	4年	17	14		2		1	5	1	4	6	16	688	87	
	3年	22	14		2		6	11	4	5	6	26	1,551	131	
藤島	4年	3	2				1	1		1		2	190	2	
	3年	3	1	1	1						1	1			29
羽黒	4年	3	1	1			1			1		1		2	4
	3年	8	4	1			3	2			2	4	623		1
櫛引	4年	5	4				1	1	1		2	4	787		
	3年	2	1				1				1	1		1	
朝日	4年	2	1		1			1				1	13		
	3年														
温海	4年	2			1		1								
	3年	3		1	1		1	1				1	67		93
三川町	4年	2	2					1	1	1		3	98	1	
	3年	4	2		1		1	1		1	1	3	189	7	
合計	4年	34	24	1	4		5	9	3	7	8	27	1,776	92	4
	3年	42	22	3	5		12	15	4	6	11	36	2,430	139	123

(前年比較)

り災世帯数				り災人員	死傷者		損 害 額 (千円)						
全 損	半 損	小 損	計		死 者	負 傷 者	建 物	林 野	車 両	船 舶	その他	爆 発	計
5		7	12	31	3	9	59,501		948		29		60,478
6		8	14	42	3	4	41,913	408	1,291		588		44,200
4		5	9	19	2	3	18,193		187		20		18,400
5		6	11	33	2	3	33,911		1,150		489		35,550
1		1	2	9	1	6	2,221				3		2,224
						1	145	325	48				518
							21				1		22
1		1	2	7			7,241	17	54		99		7,411
		1	1	3			38,964						38,964
		1	1	2	1		5						5
							102		711				813
									50		5		55
							611	66	39				716
		1	1	2			902						902
1			1	4	1		4,862		27				4,889
5		8	13	33	3	9	60,403		948		29		61,380
7		8	15	46	4	4	46,775	408	1,318		588		49,089

3 月別火災発生状況

月別	区分	件数	火災種別					焼損棟数					焼損面積		
			建物	林野	車両	船舶	その他	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	建物焼損床面積(m ²)	建物焼損表面積(m ²)	林野(a)
1月	4年	3	2				1	1		1		2	63	12	
	3年	5	3				2	1			2	3	110		
2月	4年	5	5					1	1	2	2	6	197	3	
	3年	3	2				1	1			1	2	217		
3月	4年	3	2		1						2	2			
	3年	5	3				2	2	1	2	1	6	509	17	
4月	4年	5	2	1			2	1		1		2	140	2	4
	3年	7	1	3	1		2	1			1	2	67		123
5月	4年	5	3		1		1	2	1	1	1	5	289	73	
	3年	1			1										
6月	4年	2	2					1			1	2	734		
	3年	4	2				2	2			3	5	344	2	
7月	4年	1	1					1				1	87		
	3年	6	4		1		1	7		3		10	964	75	
8月	4年	2	2							1	1	2	10		
	3年	1			1										
9月	4年	2	1				1		1			1	53		
	3年	3	2				1		1	1	1	3	59	41	
10月	4年	1	1								1	1			
	3年	3	2				1		1		1	2		4	
11月	4年	2	2					1		1		2	13	2	
	3年	2	1		1				1			1	141		
12月	4年	3	1		2			1				1	190		
	3年	2	2					1			1	2	19		
合計	4年	34	24	1	4		5	9	3	7	8	27	1,776	92	4
	3年	42	22	3	5		12	15	4	6	11	36	2,430	139	123

(前年比較)

り災世帯数				り 災 人 員	死傷者		損 害 額 (千円)						
全 損	半 損	小 損	計		死 者	負 傷 者	建 物	林 野	車 両	船 舶	その他	爆 発	計
1			1	1	1		864						864
1		1	2	3	1		2,174				6		2,180
1		3	4	11	1	3	6,780						6,780
1			1	1		1	2,528				483		3,011
							250						250
2			2	5	3		9,824						9,824
1			1	1	1		1,963		179		21		2,163
						1	621	408	69				1,098
1		1	2	5		1	6,720		8		5		6,733
									763				763
		1	1	3			37,896						37,896
		2	2	5			2,420		201				2,621
							854						854
2		2	4	16		1	14,512		257		96		14,865
		2	2	6			1,914						1,914
									1				1
							819				3		822
1		2	3	13			3,510				3		3,513
		1	1	2		1	20						20
		1	1	3			43						43
							123						123
						1	10,936		27				10,963
1			1	4		4	2,200		761				2,961
							207						207
5		8	13	33	3	9	60,403		948		29		61,380
7		8	15	46	4	4	46,775	408	1,318		588		49,089

4 原因別出火件数

種別 原因別	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	合 計
たばこ						
たき火		1			2	3
火あそび						
こんろ	1					1
放火	2					2
風呂かまど						
ストーブ	2					2
放火の疑い						
マッチ・ライター						
煙突・煙道						
電灯・電話等の配線	2				1	3
その他	10		4		1	15
不明・調査中	7				1	8
合計	24	1	4		5	34

5 時間帯別出火件数

種別 時間帯別	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	合 計
0時～2時	2					2
2時～4時	2					2
4時～6時						
6時～8時						
8時～10時	4					4
10時～12時	3				4	7
12時～14時	2	1	1			4
14時～16時	2				1	3
16時～18時	1		1			2
18時～20時	3		1			4
20時～22時	1		1			2
22時～24時	3					3
不明	1					1
合計	24	1	4		5	34

6 曜日別出火件数

種別 曜日別	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	合 計
日曜日	3		2			5
月曜日	6		1			7
火曜日	1	1			1	3
水曜日	3				2	5
木曜日	3					3
金曜日	5				2	7
土曜日	3		1			4
不明						
合計	24	1	4		5	34

7 初期消火器具等の使用状況

種別 初期消火別	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	合 計
消火器	11		2		1	14
水をかけた	5		1		2	8
水バケツ等						
寝具衣類等						
消火設備						
その他	2		1		2	5
合計	18		4		5	27

8 建物火災の用途別発生状況

用途区分	令別表区分	件数	焼損棟数	焼損床面積 (㎡)	死者 (人)	負傷者 (人)	損害額 (千円)
住 宅 (合 計)		11	13	781	1	9	17,751
一 般 住 宅		9	11	595	1	8	11,043
併 用 住 宅		1	1	186			6,707
共 同 住 宅	(5) 項ロ	1	1			1	1
防火対象物(住宅以外) (合 計)		8	8	787			39,092
飲 食 店	(3) 項ロ	1	1				98
工 場 等	(12) 項イ	4	4				290
事 務 所 等	(15) 項	2	2	734			37,885
そ の 他		5	6	208			3,560
合 計		24	27	1,776	1	9	60,403

(注) 防火対象物(一般住宅、併用住宅及びその他を除く。)の区分は、消防法施行令別表第1による。



9 住宅火災の出火箇所別発生状況

発生状況 出火箇所別	件数	件数割合 (%)	焼損棟数	焼 損 床面積 (m ²)	死者 (人)	負傷者 (人)	損害額 (千円)
居 室	7	63.6	7	403	3	8	6,878
台 所	2	18.2	4	192		1	4,148
物 置	1	9.1	1	186			6,707
廊 下	1	9.1	1				18
計	11	100.0	13	781	3	9	17,751

10 住宅火災の原因別発生状況

発生状況 原因別	件数	件数割合 (%)	焼損棟数	焼 損 床面積 (m ²)	死者 (人)	負傷者 (人)	損害額 (千円)
た ば こ							
た き 火							
火 あ そ び							
こ ん ろ	1	9.1	1				
放 火	2	18.2	2	140	2	2	1,886
風呂かまど							
ス ト ー ブ	1	9.1	1			1	20
放火の疑い							
マッチ・ライター							
煙 突 ・ 煙 道							
電灯・電話等の配線	1	9.1	1				18
そ の 他	2	18.2	2	186		1	6,708
不明・調査中	4	36.4	6	455	1	5	9,119
合 計	11	100.0	13	781	3	9	17,751

11 住宅火災の曜日別発生状況

発生状況 曜日別	件数	焼損棟数	焼 損 床面積 (㎡)	損害額 (千円)
日 曜 日	2	4	255	5,005
月 曜 日	4	4	196	8,642
火 曜 日				
水 曜 日	1	1		18
木 曜 日				
金 曜 日	3	3	190	2,221
土 曜 日	1	1	140	1,865
合 計	11	13	781	17,751

12 住宅火災における初期消火器具等の使用状況

発生状況 初期消火器具等	件数	焼 損 棟 数					焼 損 床面積 (㎡)	損害額 (千円)
		全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	計		
初 期 消 火 あり	6	2		1	3	6	376	8,967
消 火 器	4	2		1	1	4	376	8,948
水 を か け た 水 バ ケ ツ 等 寝 具 衣 類 等 消 火 設 備 そ の 他	2				2	2		19
初 期 消 火 な し	5	4		2	1	7	405	8,784
合 計	11	6		3	4	13	781	17,751

13 総出火件数等

(過去5年間)

区分	年別	単位	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
出火件数	件		53	47	36	42	34
死者	人		2	1	2	4	3
負傷者	人		3	7	5	4	9
建物焼損床面積	m ²		1,572	1,290	907	2,430	1,776
損害額	千円		94,350	60,620	37,379	49,089	61,380

14 住宅火災の推移

(過去5年間)

区分	年別	単位	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
出火件数	件		11	13	14	11	11
焼損棟数	棟		14	14	18	14	13
死者	人		2		2	3	3
負傷者	人		3	5	4	2	9
建物焼損床面積	m ²		581	1,090	827	863	781
損害額	千円		19,845	57,782	34,335	17,696	17,751

警 防 編



西目地内土砂災害時の活動

主な消防機器の現況

(R5. 4. 1 現在)

署 名		本	中	北	西	温	朝	羽	藤	櫛	三	合
区分及び品名		署	央	分	分	海	日	黒	島	引	川	計
一般救助用器具	梯子（単）	5	1		2	1		1	1			11
	梯子（2連）	2										2
	梯子（3連）	7	2	1	2	1	1	1	1	1	1	18
	空気式救助マット	2										2
	マンホール救助器具	1										1
	救命索発射装置	1										1
	ファイバースコープ	1										1
重量物排除器具	油圧ジャッキ（2 t）	1	1	2	2	5	1		3	1	1	17
	油圧スプレッダー	1				1						2
	油圧カッター	2				1						3
	油圧コンビツール	1										1
	AC電源接続ケーブル	5										5
	可搬式ウインチ	5				1						6
	機械式ウインチ	1										1
	マット型空気ジャッキ	8				2						10
破壊・切断用器具	削岩機	1										1
	電動ハンマードリル	1										1
	万能斧	8	4	2	4	2	1	2	2	3	1	29
	エンジンカッター	6	2	1	2	1	1	1	1	1	1	17
	チェーンソー	5	1		1		1	1		1	1	11
	エアーカッター	1										1
	ガソリン・酸素溶断機	1										1
呼吸保護器具	空気呼吸器	30	7	3	7	4	3	3	3	3	3	66
	空気ボンベ	166	18	8	16	11	8	8	8	7	7	257
	循環式酸素呼吸器	5										5
	送排風機	1										1
	高圧ガスコンプレッサー	1										1
隊員保護及び水難器具	耐電衣（7000V）	6										6
	耐電手袋（7000V）	9										9
	耐電長靴（7000V）	4										4
	耐熱服	4										4
	放射線防護服	2										2
	陽圧式化学防護服	5										5
	救命ボート	4										4
	救命胴衣	20	6	2	6	6	4	3	4	4	4	59
	潜水用具	16										16
	水上バイク	1										1
大規模災害	エアーテント	3										3
	赤外線カメラ	3										3
	暗視スコープ	1										1
	画像探索機Ⅱ型	1										1
	地中音響探知機	1										1

消防車両等配備状況

(R5. 4. 1 現在)

所 属	車 名	車 種 名	購 入 年 月	排気量 (cc)	ポンプ	備 考
本 部	総務 1 号車	トヨタ クラウン	H 4. 6	2,490		
	総務 2 号車	トヨタ ノア	H19. 8	1,990		4WD
	予防 1 号車	トヨタ ノア	H19. 8	1,990		4WD
	予防 2 号車	スズキ エブリイ	R 2. 1	650		4WD
	予防 3 号車	ニッサンエクストレイル	H27.10	1,990		4WD
	警防 1 号車	ホンダ ステップワゴン	H19.11	1,990		4WD
本 署	水槽 1 号車	いすゞ	R 4. 3	5,190	シパウラ	2WD・5,000L水槽 B-2級消防小型動力ポンプ積載
	化学 1 号車	いすゞ	H26. 2	5,190	日本ドライ	II型 4WD
	本署ポンプ 1 号車	日野	H27.11	4,000	モリタ	CD-I・4WD・キャフス装置付き
	本署ポンプ 2 号車	日野	H19.11	4,000	モリタ	CD-I・4WD・キャフス装置付き
	本署ポンプ 3 号車	いすゞ	H12. 1	4,570	G M	CD-I・4WD
	はしご 1 号車	日野	H15.12	20,780		30m級・4WS
	救助工作 1 号車	日野	R 2. 2	5,120		II型・4WD クレーン、ウインチ、照明付き
	積載 1 号車	三菱	H29. 2	7,540		格納リフト付・コンテナタイプ ・4.7トン積載
	積載 2 号車	いすゞ	H31. 3	5,190		津波・大規模風水害対策車 ※1) 参照
	指揮 1 号車	トヨタ ハイエース	H30. 2	2,690		4WD
	指揮 2 号車	トヨタ ランドクルーザー	H12.11	4,660		4WD・水上バイク牽引システム付き ・照明付き
	広報 1 号車	トヨタ ハイエース	H20. 2	2,690		4WD・バイク、水上バイク積載・ 牽引システム付き
	本署救急 1 号車	トヨタ	H27.12	2,690		高規格救急自動車・4WD
	本署救急 2 号車	トヨタ	H21.10	2,690		高規格救急自動車・4WD
	本署救急 3 号車	ニッサン	H22.11	3,490		高規格救急自動車・4WD JA共済連山形より寄贈
	消防バイク 1 号車	ヤマハ	H18. 6	225		オフロードバイク ロータリークラブより寄贈
	消防バイク 2 号車	ヤマハ	H18. 6	225		オフロードバイク ロータリークラブより寄贈
	消防バイク 3 号車	ヤマハ	H18. 7	225		オフロードバイク 鶴岡市消防協会より寄贈
ボートトレーラー	ヤマハ	H19. 8	-		水上バイク牽引用	

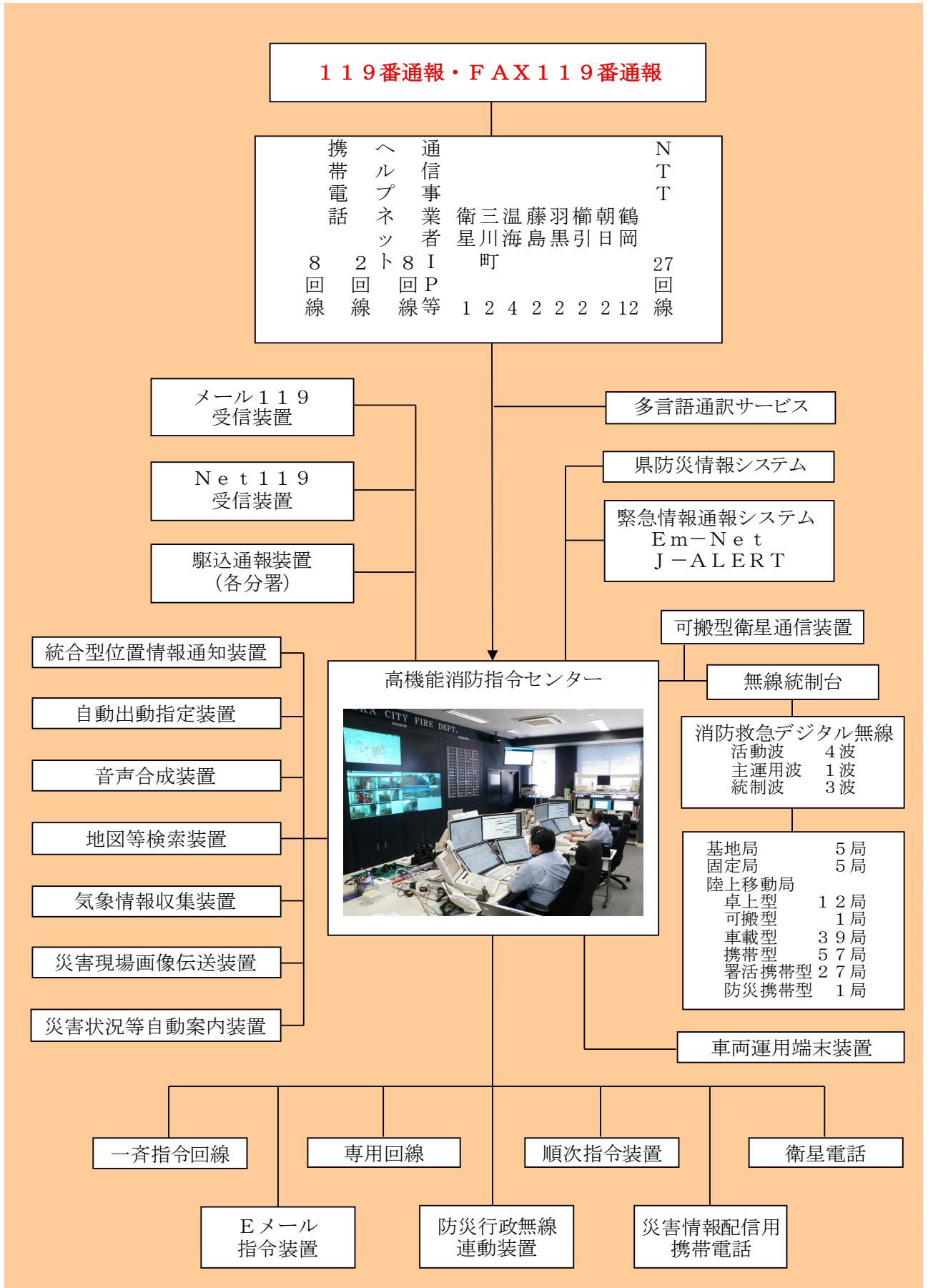
所 属	車 名	車 種 名	購 入 年 月	排気量 (cc)	ポンプ	備 考
中 央 分 署	中央タンク1号車	日野	H24. 2	6,400	モリタ	水II・4WD
	中央ポンプ1号車	日野	H19. 11	4,000	モリタ	CD-I・4WD・キャフス装置付き
	中央救急1号車	トヨタ	H24. 11	2,690		高規格救急自動車・4WD
北 分 署	北ポンプ1号車	日野	H31. 2	4,000	モリタ	CD-I・4WD
	北救急1号車	ニッサン	H30. 3	3,490		高規格救急自動車・4WD
西 分 署	西タンク1号車	日野	H30. 1	5,120	モリタ	水II・4WD・キャフス装置付き
	西ポンプ1号車	トヨタ	H28. 3	4,000	G M	CD-I・4WD・キャフス装置付き
	西救急1号車	ニッサン	H26. 12	3,490		高規格救急自動車・4WD
温 海 分 署	温海ポンプ1号車	日野	H24. 12	4,000	モリタ	CD-I・4WD・救助資機材積載 キャフス装置付き
	温海救急1号車	トヨタ	H31. 1	2,690		高規格救急自動車・4WD
朝 日 分 署	朝日ポンプ1号車	日野	R 4. 9	4,000	モリタ	CD-I・4WD
	朝日救急1号車	トヨタ	R 3. 3	2,690		高規格救急自動車・4WD
羽 黒 分 署	羽黒ポンプ1号車	日野	H31. 3	4,000	日本ドライ	CD-I・4WD
	羽黒救急1号車	トヨタ	R 5. 3	2,690		高規格救急自動車・4WD
藤 島 分 署	藤島ポンプ1号車	日野	H29. 3	4,000	モリタ	CD-I・4WD・キャフス装置付き
	藤島救急1号車	トヨタ	H22. 1	2,690		高規格救急自動車・4WD
榎 引 分 署	榎引ポンプ1号車	日野	R 3. 12	4,000	モリタ	CD-I・4WD
三 川 分 署	三川ポンプ1号車	日野	R 3. 3	4,000	モリタ	CD-I・4WD

※1) 消防庁無償使用車両で水陸両用8輪バギー(748CC)を積載【4WD・格納リフト付き】

通信指令業務

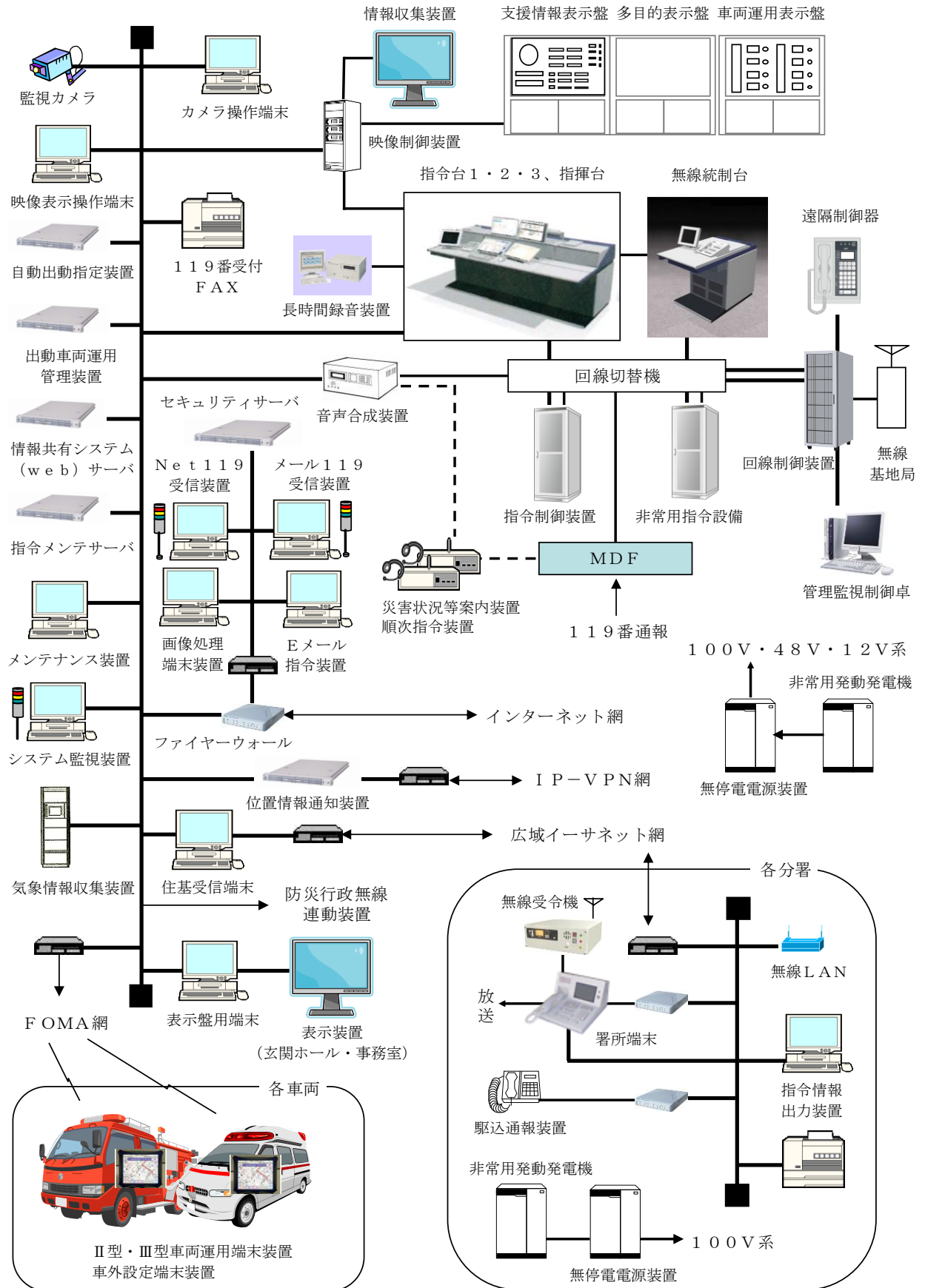
1 通信系統図

(R5. 4. 1 現在)



2 高機能消防指令センター システム図

(R5. 4. 1 現在)



119番受信状況

1 月別受信状況

種別	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災		8	7	1	5	11	2	4	2	1	1	3	7	52
救急・救助		522	456	447	402	410	397	484	559	480	448	481	564	5,650
その他の災害		1				1		1				2	1	6
警戒		12	7	12	8	3	5	4	17	2	7	6	17	100
通報訓練		36	37	80	58	64	104	71	35	97	139	136	85	942
問い合わせ		15	10	15	10	14	15	12	18	14	20	11	11	165
間違い		32	26	17	20	27	17	25	25	23	27	33	37	309
悪戯		1	1		1	1		1	1			1		7
その他		29	27	23	15	11	28	17	34	18	33	34	35	304
他消防転送		6	1	5	5	5	6	12	6	5	4	6	6	67
合計		662	572	600	524	547	574	631	697	640	679	713	763	7,602

(注) 1 携帯電話からの通報を含む。

2 表中の数値には、同一災害による第2報、第3報等の通報及び災害と通報されたが結果的に災害にならない通報も含む。次表において同じ。

2 曜日別受信状況

種別	曜日別	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	合計
火災		16	8	2	4	3	16	3	52
救急・救助		772	878	816	763	765	825	831	5,650
その他の災害		1		1	1		2	1	6
警戒		10	13	9	28	11	15	14	100
通報訓練		35	134	169	194	194	179	37	942
問い合わせ		35	26	18	19	17	19	31	165
間違い		55	48	50	47	33	46	30	309
悪戯		2	1	2		1		1	7
その他		51	50	39	29	41	44	50	304
他消防転送		6	2	7	12	16	17	7	67
合計		983	1,160	1,113	1,097	1,081	1,163	1,005	7,602

一般加入電話受信状況

1 月別受信状況

種別	月別												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
火災	1		1						1				3
救急・救助	8	5	4	3	6	3	6	8	7	6	6	11	73
その他の災害					1						1		2
警戒	13	7	11	5	6	2	6	3	5	4	3	11	76
合計	22	12	16	8	13	5	12	11	13	10	10	22	154

2 曜日別受信状況

種別	曜日別							合計
	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
火災					2	1		3
救急・救助	10	14	15	7	11	10	6	73
その他の災害				1			1	2
警戒	7	18	8	15	8	9	11	76
合計	17	32	23	23	21	20	18	154



消防水利の現況

(R5. 4. 1 現在)

水利別		市町別	鶴岡市						三川町	合計
			鶴岡	藤島	羽黒	櫛引	朝日	温海		
消 火 栓	公 設	3,956	2,202	306	371	286	323	468	237	4,193
	私 設	66	38	9	10	9			24	90
	小 計	4,022	2,240	315	381	295	323	468	261	4,283
防 設	100m ³ 以上	16	10	2		3		1		16
	60～100m ³ 未満	44	32			2	4	6	3	47
	40～ 60m ³ 未満	869	352	118	67	71	130	131	90	959
	20～ 40m ³ 未満	196	26	98	18	33	13	8	22	218
	小 計	1,125	420	218	85	109	147	146	115	1,240
火 水 設	100m ³ 以上	3	3							3
	60～100m ³ 未満	3	3							3
	40～ 60m ³ 未満	48	35	4	3	6			13	61
	20～ 40m ³ 未満	8	6	2					4	12
	小 計	62	47	6	3	6			17	79
槽 ・ 私 設 計	100m ³ 以上	19	13	2		3		1		19
	60～100m ³ 未満	47	35			2	4	6	3	50
	40～ 60m ³ 未満	917	387	122	70	77	130	131	103	1,020
	20～ 40m ³ 未満	204	32	100	18	33	13	8	26	230
	小 計	1,187	467	224	88	115	147	146	132	1,319
合 計		5,209	2,707	539	469	410	470	614	393	5,602

中高層建築物の現況

1 市町及び地域別状況

(R5. 4. 1 現在)

階数別 市町別	4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10階以上	合 計
鶴 岡 市	112 (51)	31 (14)	20 (4)	5 (3)	7 (2)	2 (1)	14 (3)	191 (78)
鶴 岡	94 (45)	30 (13)	17 (3)	3 (2)	6 (2)	2 (1)	13 (2)	165 (68)
藤 島	1							1
羽 黒	1	1 (1)						2 (1)
櫛 引	3							3
朝 日	3							3
温 海	10 (6)		3 (1)	2 (1)	1		1 (1)	17 (9)
三 川 町	2							2
合 計	114 (51)	31 (14)	20 (4)	5 (3)	7 (2)	2 (1)	14 (3)	193 (78)

(注) () 内は、梯子車架でい不能又は障害があるもの。

2 用途別状況

(R5. 4. 1 現在)

階数別 防火対象物の区分	4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10階以上	合 計
(1) イ 劇 場 等	1							1
ロ 公 会 堂 等								
(2) イ キ ャ バ レ ー 等								
ロ 遊 技 場 等								
ハ 風 俗 店 舗 等								
ニ カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等								
(3) イ 料 理 店 等								
ロ 飲 食 店 等	2	1(1)						3(1)
(4) 百 貨 店 等	2							2
(5) イ 旅 館 等	5(1)	4(1)	6(1)	4	4(2)	1	8(1)	32(6)
ロ 共 同 住 宅 等	63	12	2	1	1	1	4	84
(6) イ 病 院 等	4(1)	2	1				1	8(1)
ロ 社 会 福 祉 施 設 等	7(1)		1					8(1)
ハ 幼 稚 園 等								
(7) 学 校	14(1)	3	1					18(1)
(8) 図 書 館 等								
(9) イ 特 殊 浴 場								
ロ 一 般 浴 場								
(10) 停 車 場 等								
(11) 神 社 ・ 寺 院 等								
(12) イ 工 場 等	3	1	2					6
ロ ス タ ジ オ								
(13) イ 駐 車 場 等		1	1					2
ロ 航 空 機 格 納 庫								
(14) 倉 庫								
(15) 事 務 所 等	8	5	2		1			16
(16) イ 特 定 複 合 用 途 防 火 対 象 物	5	2(1)	4(1)		1		1	13(2)
ロ 一 般 複 合 用 途 防 火 対 象 物								
合 計	114(4)	31(3)	20(2)	5	7(2)	2	14(1)	193(12)

(注) () 内は、建物はあるが休業、廃業等、現在使用されていない状態のもの。

救急統計

1 救急活動状況

区分 事故種別	出 動 件 数 (件)	搬 送 件 数 (件)	搬 送 人 員			傷 病 程 度					覚 知 種 別				
			男	女	計 (人)	軽 症	中 等 症	重 症	死 亡	※2 そ の 他	一 九	加 入 電 話	駆 付	※3 そ の 他	
火災事故	10	5	3	5	8	3	3	2	0	0	8	0	0	2	
自然災害事故	3	1	1	1	2	2	0	0	0	0	0	1	0	2	
水難事故	4	0	0	0		0	0	0	0	0	2	0	0	2	
交通事故	227	173	99	85	184	147	28	7	2	0	154	7	1	65	
労働災害事故	62	62	53	9	62	27	27	7	1	0	60	0	2	0	
運動競技事故	18	16	12	4	16	14	2	0	0	0	18	0	0	0	
一般負傷	864	771	306	465	771	406	279	72	14	0	837	7	4	16	
加害事故	7	3	0	3	3	3	0	0	0	0	5	0	0	2	
自損事故	41	20	9	11	20	4	6	2	8	0	34	0	0	7	
急病	4,288	3838	1,936	1,904	3,840	1,614	1,866	224	136	0	4,212	23	19	34	
そ の 他	転院搬送	461	458	221	237	458	13	383	59	3	0	337	3	0	121
	医師搬送	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	
	資器材搬送	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	
	※1 その他	39	3	1	2	3	1	0	1	1	0	31	2	1	5
合 計	6,024	5,350	2,641	2,726	5,367	2,234	2,594	374	165	0	5,698	43	27	256	
構成比 (%)	—	—	49.2	50.8	100.0	41.6	48.3	7.0	3.1	0.0	94.6	0.7	0.4	4.2	
備 考	※1 「その他」：正常分娩及び事故原因が断定できないもの等をいう。 ※2 「その他」：医師の診断がないもの等をいう。 ※3 「その他」：警察専用回線及び病院専用回線等をいう。 ※4 「その他」：救急要請により出動したが他車で搬送された場合等をいう。														

(注) 計の値が四捨五入により各値の計と一致しない場合がある。以下本統計において、ことわりのな

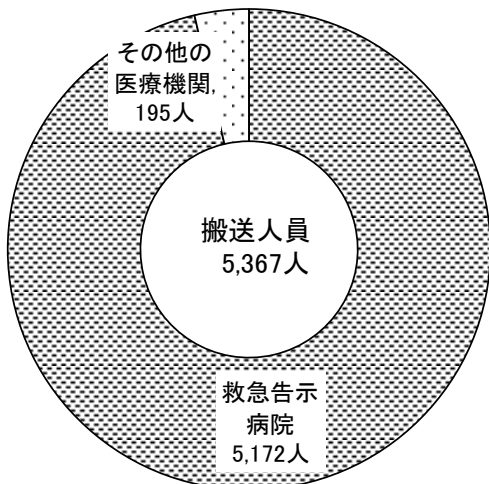
不 搬 送 の 内 訳									市 町 別 出 動 件 数									
辞 退 (到 着 前)	辞 退 (到 着 後)	拒 否	明 ら か な 死 亡	他 車 (隊) 搬 送	傷 病 者 な し	誤 い た ず 報 ら	※ ⁴ そ の 他	計 (件)	鶴 岡 市	鶴 岡	藤 島	羽 黒	櫛 引	朝 日	温 海	三 川 町	そ の 他	
																		0
0	0	0	1	1	0	0	0	2	8	1	7	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	1	1	0	0	0	2	3	3	0	0	0	0	0	0	0	
0	1	0	1	0	1	0	1	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	
0	1	0	1	0	1	0	1	4	4	3	1	0	0	0	0	0	0	
0	26	1	0	5	9	0	13	54	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	201	142	11	12	7	13	16	26	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	164	112	12	8	10	9	13	20	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	56	40	4	0	5	3	4	6	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	56	40	4	0	5	3	4	6	0	
0	1	0	0	0	0	0	1	2	17	12	0	1	2	1	1	1	0	
0	1	0	0	0	0	0	1	2	15	11	0	1	2	1	0	1	0	
2	47	5	2	3	3	1	30	93	818	550	55	57	44	38	74	46	0	
0	3	1	0	0	0	0	0	4	729	483	51	50	39	35	71	42	0	
0	3	1	0	0	0	0	0	4	6	5	1	0	0	0	0	1	0	
0	0	0	18	0	0	0	3	21	3	2	1	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	18	0	0	0	3	21	38	24	2	2	4	4	2	3	0	
12	161	28	113	9	9	0	118	450	17	13	0	1	1	2	0	3	0	
0	0	0	0	0	1	0	2	3	4,065	2,851	298	255	206	180	275	223	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,643	2,534	261	228	193	164	263	197	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	448	360	9	2	52	0	25	13	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	445	357	9	2	52	0	25	13	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	1	0	4	0	22	6	3	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	1	0	4	0	22	6	3	36	38	24	1	5	4	0	4	1	0	
14	241	35	141	18	46	7	172	674	3	3	0	0	0	0	0	0	0	
2.1	35.8	5.2	20.9	2.7	6.8	1.0	25.5	100.0	5,704	4,020	386	334	324	239	401	320	0	
									5,085	3,558	345	290	302	214	376	282	0	
									94.7	66.7	6.4	5.5	5.4	4.0	6.7	5.3	0.0	
									94.7	66.3	6.4	5.4	5.6	4.0	7.0	5.3	0.0	
									上 段 : 出 動 件 数 (件)									
									下 段 : 搬 送 人 員 (人)									

い 限 り 同 じ。

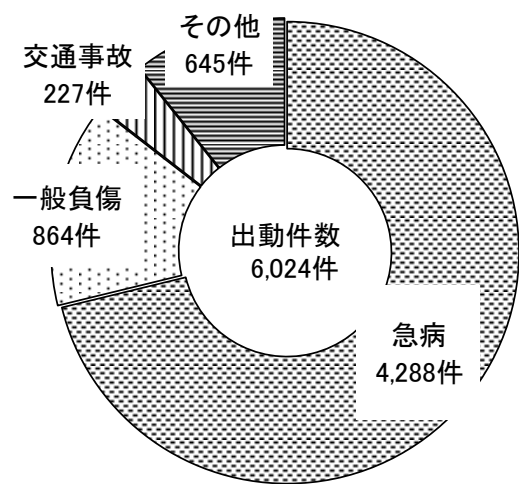
2 月別事故種別出動件数と搬送人員

種別 月別	火 災 事 故	自 然 災 害 事 故	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害 事 故	運 動 競 技 事 故	一 般 負 傷	加 害 事 故	自 損 事 故	急 病	そ の 他	合 計
1 月	1	0	0	11	4	0	95	1	4	401	50	567
	0	0	0	8	4	0	87	0	3	356	47	505
2 月	4	0	0	22	4	0	75	1	3	340	38	487
	3	0	0	20	4	0	71	1	2	300	37	438
3 月	0	0	1	9	3	1	58	0	0	348	42	462
	0	0	0	6	3	1	53	0	0	304	38	405
4 月	1	0	0	13	4	3	55	0	3	304	46	429
	0	0	0	8	4	3	50	0	2	283	43	393
5 月	1	0	0	35	7	3	56	2	10	292	44	450
	0	0	0	35	7	2	51	1	2	269	40	407
6 月	0	0	0	16	3	3	66	1	2	295	35	421
	0	0	0	9	3	3	62	1	2	268	32	380
7 月	0	0	0	28	3	0	60	0	2	383	35	511
	0	0	0	25	3	0	51	0	0	344	33	456
8 月	0	0	0	21	8	1	91	0	2	414	54	591
	0	0	0	20	8	1	78	0	1	370	48	526
9 月	0	0	2	29	8	5	66	1	7	362	31	511
	0	0	0	19	8	5	57	0	3	327	28	447
10 月	2	0	0	18	4	0	72	0	4	339	36	475
	1	0	0	16	4	0	65	0	2	300	35	423
11 月	0	0	1	8	8	1	79	1	2	364	42	506
	0	0	0	4	8	0	70	0	2	326	36	446
12 月	1	3	0	17	6	1	91	0	2	446	47	614
	4	2	0	14	6	1	76	0	1	393	44	541
合 計	10	3	4	227	62	18	864	7	41	4,288	500	6,024
	8	2	0	184	62	16	771	3	20	3,840	461	5,367
備 考	上段 : 出動件数 (件) 下段 : 搬送人員 (人)											

3 医療機関別搬送人員の状況



4 事故種別出動状況



5 年齢区分別傷病程度別搬送人員の状況

年齢区分 傷病程度	新生児 (生後28日以内)		乳幼児 (生後29日以上 満7歳未満)		少年 (満7歳以上 満18歳未満)		成人 (満18歳以上 満65歳未満)		高齢者 (満65歳以上)		計 (人)	
		(%)		(%)		(%)		(%)		(%)		(%)
死亡	0	-	0	-	0	-	18	1.7	147	3.6	165	3.1
重症	2	18.2	1	0.8	1	1.0	59	5.4	311	7.7	374	7.0
中等症	8	72.7	69	53.1	21	20.0	372	34.3	2,124	52.6	2,594	48.3
軽症	1	9.1	60	46.2	83	79.0	637	58.7	1,453	36.0	2,234	41.6
その他	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0.0
合計	11	100.0	130	100.0	105	100.0	1,086	100.0	4,035	100.0	5,367	100.0
構成比 (%)	0.2		2.4		2.0		20.2		75.2		100.0	

(注) 傷病程度 死亡とは、初診時において死亡が確認されたものをいう。
重症とは、傷病程度が3週間の入院加療を必要とするもの以上をいう。
中等症とは、傷病程度が重症又は軽症以外のものをいう。
軽症とは、傷病程度が入院加療を必要としないものをいう。

6 曜日別時間帯別搬送人員状況

時間帯別 曜日別	0時	2時	4時	6時	8時	10時	12時	14時	16時	18時	20時	22時	合計
	2時	4時	6時	8時	10時	12時	14時	16時	18時	20時	22時	24時	
日曜日	31	26	32	54	115	95	98	95	75	83	73	34	811
	30	24	26	49	101	84	86	83	61	71	64	29	708
月曜日	31	25	37	92	127	140	108	69	113	86	72	40	940
	27	24	33	85	116	128	97	60	105	79	63	37	854
火曜日	25	24	33	70	129	138	96	82	95	79	70	30	871
	22	18	30	58	117	129	86	73	90	66	62	25	776
水曜日	31	23	37	64	109	95	108	95	81	82	50	37	812
	28	21	33	58	103	83	98	83	77	74	46	31	735
木曜日	24	24	19	68	108	107	103	84	102	89	60	36	824
	19	23	16	61	99	102	98	76	90	82	51	30	747
金曜日	36	24	25	75	120	108	100	82	96	84	68	57	875
	34	20	18	67	112	93	93	73	80	73	59	46	768
土曜日	37	28	36	44	104	126	109	100	94	96	70	47	891
	33	24	34	41	85	111	95	88	80	90	60	38	779
合計	215	174	219	467	812	809	722	607	656	599	463	281	6,024
	193	154	190	419	733	730	653	536	583	535	405	236	5,367
備考	上段 出動件数 (件) 下段 搬送人員 (人)												

7 現場到着所要時間状況(入電～現場到着まで)

時間 署別	時間					合計 (件)	平均 (分)
	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上		
本署救急隊	3	51	654	427	79	1,214	10.2
中央救急隊	1	88	1,137	318	26	1,570	8.0
北救急隊	2	28	742	402	16	1,190	8.9
西救急隊	1	5	214	247	20	487	10.6
温海救急隊	4	8	142	178	72	404	12.9
朝日救急隊	3	19	155	160	26	363	10.8
藤島救急隊	4	26	240	149	6	425	9.0
羽黒救急隊	0	2	157	190	22	371	11.7
合計	18	227	3,441	2,071	267	6,024	9.6
構成比(%)	0.3	3.8	57.1	34.4	4.4	100.0	—

8 収容所要時間状況(入電～医療機関まで)

時間 署別	時間						合計 (人)	平均 (分)
	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上		
本署救急隊	0	23	257	660	123	10	1,073	41.4
中央救急隊	0	33	507	770	63	1	1,374	34.8
北救急隊	0	9	357	635	56	3	1,060	36.7
西救急隊	0	0	2	377	64	3	446	49.2
温海救急隊	0	0	3	157	212	2	374	63.6
朝日救急隊	0	0	7	266	58	2	333	48.6
藤島救急隊	0	0	41	306	33	0	380	42.3
羽黒救急隊	0	0	5	265	54	3	327	50.1
合計	0	65	1,179	3,436	663	24	5,367	42.0
構成比(%)	0.0	1.2	22.0	64.0	12.4	0.4	100.0	—

9 住所別搬送人員状況

種別 区分	種別											合計 (人)
	火 災 事 故	自 然 災 害 事 故	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害 事 故	運 動 競 技 事 故	一 般 負 傷	加 害 事 故	自 損 事 故	急 病	そ の 他	
管内住所者	8	1	0	140	50	10	723	2	18	3,674	436	5,062
管外住所者	0	1	0	43	12	6	48	1	2	164	25	302
その他	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	3
合計	8	2	0	184	62	16	771	3	20	3,840	461	5,367

(注) 「その他」とは、外国人旅行者(外国人のうち日本に住所を有している者を除く外国人)、または住所が判明しない者等をいう。

10 救急隊員の行った応急処置の状況

事故種別		急 病	交通事故	一般負傷	そ の 他	合 計
止	血	19	17	86	17	139
固	定	16	45	101	26	188
人 工 呼 吸		18			4	22
胸 骨 圧 迫						
	うち自動					
心 肺 蘇 生 法		154	3	17	17	191
	うち自動	4			2	6
酸 素 吸 入		1,002	20	51	139	1,212
気 道 確 保		228	3	23	18	272
	※ 1					
	※ 2	9		6		15
	※ 3	102		9	10	121
	※ 4					
保 温		459	13	85	68	625
被 覆		19	28	125	20	192
在 宅 療 法 継 続		38			6	44
	※ 5	4			5	9
	※ 6	7				7
	※ 7	27			1	28
シ ョ ッ ク パ ン ツ						
除 細 動		16		1	3	20
静 脈 路 確 保		108	4	14	9	135
	C P A 前	30	3	5	3	41
	C P A 後	78	1	9	6	94
薬 剤 投 与		36	1	5	6	48
血 糖 測 定		344	3	6	5	358
ブ ド ウ 糖 投 与		33				33
エ ピ ペ ン						
そ の 他		103	3	20	15	141
血 圧 測 定		3,602	177	741	542	5,062
聴 診 器		1,017	62	103	112	1,294
血 中 酸 素		3,686	178	751	549	5,164
心 電 図		2,399	50	187	274	2,910
合 計		13,297	607	2,316	1,830	18,050
備 考		気 道 確 保 (いずれも内数)	※ 1 経鼻エアウェイを使用しての気道確保 ※ 2 喉頭鏡・鉗子等による異物除去 ※ 3 救急救命士がラリングアルマスク等を使用した気道確保 ※ 4 救急救命士が行った気管挿管処置			
		在 宅 療 法 継 続 (いずれも内数)	※ 5 在宅中心静脈栄養管理等による点滴 ※ 6 気管切開・人工肛門等 ※ 7 5・6以外の応急処置			

11 過去5ヶ年の事故種別出動・搬送人員の状況

種別		火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	合
		災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	の	計
年別		事	害	事	事	事	事	負	事	事	他		
		故	故	故	故	故	故	傷	故	故	病	他	計
平成30年	出動件数(件)	1	0	11	349	59	40	865	6	45	4,074	602	6,052
	比率 (%)	0.1	0.0	0.1	5.8	1.0	0.7	14.3	0.1	0.7	67.3	9.9	100.0
	搬送人員(人)	1	0	6	353	59	38	810	5	25	3,801	560	5,658
令和元年	出動件数(件)	4	0	13	357	34	26	804	9	36	4,107	516	5,906
	構成比 (%)	0.1	0.0	0.2	6.0	0.6	0.4	13.6	0.2	0.6	69.5	8.7	100.0
	搬送人員(人)	4	0	4	330	34	26	764	6	20	3,821	471	5,480
令和2年	出動件数(件)	4	0	7	252	44	14	725	5	46	3,666	529	5,292
	構成比 (%)	0.1	0.0	0.1	4.8	0.8	0.3	13.7	0.1	0.9	69.3	10.0	100.0
	搬送人員(人)	6	0	2	226	41	14	686	5	26	3,402	476	4,884
令和3年	出動件数(件)	5	0	7	240	62	12	818	8	37	3,960	510	5,659
	構成比 (%)	0.1	0.0	0.1	4.2	1.1	0.2	14.5	0.1	0.7	70.0	9.0	100.0
	搬送人員(人)	1	0	1	214	60	12	760	5	22	3,584	444	5,103
令和4年	出動件数(件)	10	3	4	227	62	18	864	7	41	4,288	500	6,024
	構成比 (%)	0.2	0.0	0.1	3.8	1.0	0.3	14.3	0.1	0.7	71.2	8.3	100
	搬送人員(人)	8	2	0	184	62	16	771	3	20	3,840	461	5,367

12 職員が行った応急当普及啓発活動の状況

月別	種別	普通救命講習 I	普通救命講習 II	普通救命講習 III	上級救命講習	応急手当普及員	普及員再講習	応急手当指導員	指導員再講習	入門コース	自治会	P学校・保育園等 T A	事業所	婦人会	各種団体	その他	合計
		回数	1		1												
人数	13		8														21
回数																	
人数													2				2
回数													2				2
人数													35				35
回数												1	3				4
人数												25	93				118
回数	1											1	2		1		5
人数	17											12	47		12		88
回数	1											9	5				15
人数	20											227	115				362
回数											5	3	3		1	1	13
人数											75	57	14		60	20	226
回数												2	2		1		5
人数												85	40		8		133
回数	1		1								4					1	7
人数	16		10								155					9	190
回数	3		2								3		3			1	12
人数	38		17								200		51			20	326
回数	3										4	1	3				11
人数	32										73	20	26				151
回数	1										1		4				6
人数	10										8		60				78
合計	回数	11		4							17	17	27		3	3	82
	人数	146		35							511	426	481		80	49	1,728

救助統計

1 市町別救助件数・救助人員

市町別		事故種別		火	交	水	自	機	建	ガ	破	そ	合
		災	通	難	然	械	物	ス	裂	の	計		
事故	故	故	故	故	故	故	故	による	による	及び	事	他	
鶴岡市	出動件数	3	15	6	1	1		4				19	49
	救助人員	3	7	4	4	1		2				17	38
鶴岡	出動件数	2	6	5	1			4				7	25
	救助人員	2	1	2	4			2				6	17
藤島	出動件数	1	1										2
	救助人員	1	1										2
羽黒	出動件数		4									5	9
	救助人員		4									4	8
櫛引	出動件数											2	2
	救助人員											2	2
朝日	出動件数		3		1	1						4	9
	救助人員		1		2	1						4	8
温海	出動件数		1									1	2
	救助人員											1	1
三川町	出動件数		6										6
	救助人員		4										4
その他の地域	出動件数											4	4
	救助人員											4	4
合計	出動件数	3	21	5	2	1		4				23	59
	救助人員	3	11	2	6	1		2				21	46

2 出動隊別事故種別出動状況及び救助人員

区分		事故種別		火 災 事 故	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害 事 故	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他	合 計
出 動 件 数		3	21	6	1			1		4	23	59	
出 動 隊	兼任救助隊	2	21	6	1			1		4	21	56	
	警 防 隊	13	23	15	6					1	32	90	
	救 急 隊	3	25	5	2			1		4	19	59	
	計	18	69	26	9			2		9	72	205	
活 動 隊	兼任救助隊	2	6	3	1					1	12	25	
	警 防 隊	13	10	8	6						21	58	
	救 急 隊	3	19	1	2					4	14	43	
	計	18	35	12	9					5	47	126	
救 助 人 員	兼任救助隊		6	4	4					1	11	26	
	警 防 隊	3	2								4	9	
	救 急 隊		2							1	1	4	
	消防隊以外		1					1			5	7	
	計	3	11	4	4			1		2	21	46	

3 発生場所別事故種別救助人員

区分		事故種別		火 災 事 故	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害 事 故	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他	合 計	
出 動 件 数		3	21	6	1	1		4				23	59	
屋 内	住 居	3										2	5	
	その他の屋内							2				1	3	
屋 外	道 路	国 道												
		その他の道路		9									9	
	水 面	内 水 面												
		外 水 面			4								1	5
	山 岳											11	11	
その他の屋外		2		4	1						6	13		
地 下														
そ の 他														
合 計		3	11	4	4	1		2				21	46	

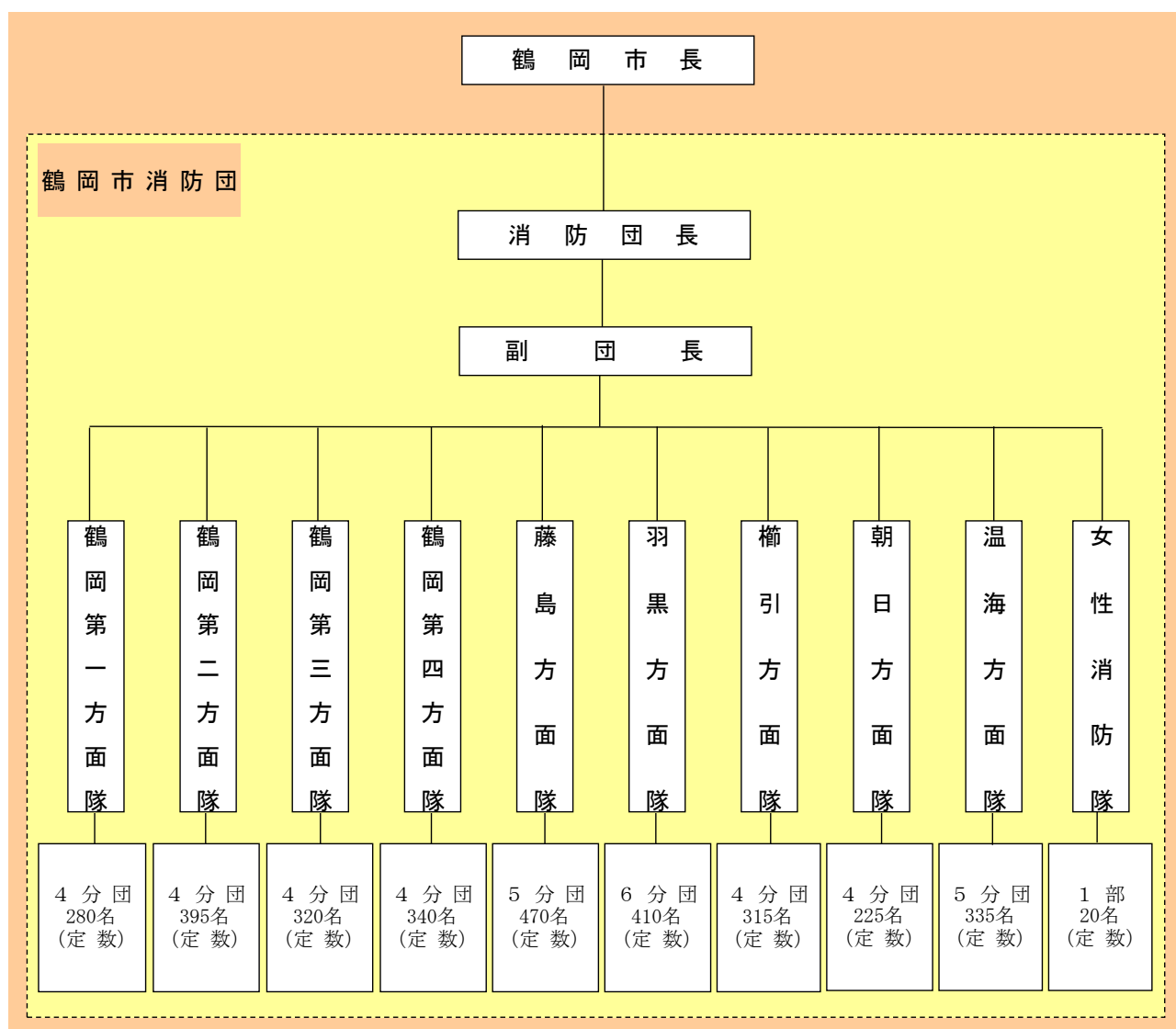
消防団編



春季消防演習

消防団の構成

(R5. 4. 1 現在)



消防団長・副団長名

(R5. 4. 1 現在)

団長名	就任	副団長名	就任	副団長名	就任
照井 和	R 3. 4. 1	五十嵐 英男	H29. 4. 1	富樫 正明	H29. 4. 1
		石川 範夫	H29. 4. 1	渡部 昌樹	R 3. 4. 1
		高橋 清	R 3. 4. 1		

階級別消防団員数

(R5. 4. 1 現在)

方面隊等別	年数別 定数	現在数	団長	副団長		分団長		副分団長	部長	班長	団員
				方面隊長	副方面隊長	方面隊長	副方面隊長				
鶴岡市	3,120	2,800	1	5	9	9	40	79	125	299	2,233
鶴岡	1,335	1,240			4	4	16	32	57	124	1,003
藤島	470	426			1	1	5	10	16	51	342
羽黒	410	365			1	1	6	11	11	42	293
櫛引	315	260			1	1	4	8	12	31	203
朝日	225	204			1	1	4	8	11	22	157
温海	335	288			1	1	5	10	17	28	226
女性消防隊	20	11							1	1	9

在職年数別消防団員数

(R5. 4. 1 現在)

方面隊等別	年数別	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	合計
		鶴岡市	465	652	625	492	321	159	86
鶴岡	213	281	279	210	144	76	43	1,246	
藤島	70	107	93	88	43	18	7	426	
羽黒	56	91	87	68	36	20	7	365	
櫛引	44	70	65	44	23	10	4	260	
朝日	31	47	41	27	28	15	15	204	
温海	47	54	59	53	45	20	10	288	
女性消防隊	4	2	1	2	2			11	

年齢別消防団員数

(R5. 4. 1 現在)

年齢別 方面隊等別	人員 合計	平均 年齢 (才)	18才	25才	30才	35才	40才	45才	50才	55才	60才 以上
			ㄱ 24才	ㄱ 29才	ㄱ 34才	ㄱ 39才	ㄱ 44才	ㄱ 49才	ㄱ 54才	ㄱ 59才	
鶴岡市	2,800	38.9	104	298	420	640	583	371	190	101	79
		37.5	0	2	2	3	2	4	1	0	0
鶴岡	1,246	40.2	44	108	172	267	258	188	96	66	47
藤島	426	37.3	16	50	75	102	107	55	15	4	2
羽黒	365	37.9	13	37	64	104	73	38	22	7	7
櫛引	260	37.1	11	32	49	65	46	26	13	7	8
		28.6		2		1					
朝日	204	39.8	7	26	29	38	35	28	25	7	9
温海	288	38.6	13	45	31	64	64	36	19	10	6
女性 消防隊	11										
		43.2			2	2	2	4	1		

(注) 上段：男性団員、下段：女性団員

消防団機械等現勢

(R5. 4. 1 現在)

項目 方面隊別	水槽付 消防ポンプ 自動車	普通 消防ポンプ 自動車	小型動力 ポンプ付 普通積載車	小型動力 ポンプ付 軽積載車	小型動力 ポンプ付 軽搬送車	小型動力 ポンプ 台	合計
	鶴岡市	1	35	34	109	3	
鶴岡	1	19	9	41	1	56	127
藤島		4	3	12		32	51
羽黒		4		13	2	23	42
櫛引		2	9	12		8	31
朝日		1		23		3	27
温海		5	13	8		2	28

階級別消防団員報酬

(R5. 4. 1 現在)

階 級	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
報 酬 額	140,000円	90,000円	70,000円	55,000円	42,000円	39,000円	36,500円

出動手当額

(R5. 4. 1 現在)

項 目	水 ・ 火 災	警 戒	訓 練	そ の 他
1 回 当 た り の 出 動 手 当 額	2時間未満 2,000円 2時間以上4時間未満 4,000円 4時間以上 8,000円	2時間未満 2,000円 2時間以上4時間未満 4,000円 4時間以上 8,000円	2,000円	2,000円



春季消防演習にて
鶴岡市消防団 纏隊

消防救助技術大会 出場記録



消防救助技術大会

1 全国大会

大会回数	実施年月日	出場種目
2	昭和48年9月21日	救命索発射銃
		高所人命救助
3	昭和49年9月10日	50m自由形水中検索
		200mメドレー
		高所人命救助
4	昭和50年9月10日	ロープ登はん
6	昭和52年8月18日	ロープ応用登はん
7	昭和53年8月22日	ロープ応用登はん
8	昭和54年8月24日	引揚救助
22	平成5年8月20日	ロープ登はん
26	平成9年8月22日	ロープ登はん
27	平成10年8月27日	ロープブリッジ渡過
29	平成12年8月18日	ロープ登はん
31	平成14年8月23日	はしご登はん
		ロープブリッジ救出
32	平成15年8月28日	基本泳法
		溺者救助
		水中検索救助
		人命救助
33	平成16年8月26日	人命救助
35	平成18年8月24日	溺者救助
37	平成20年8月29日	基本泳法
		溺者救助
39	平成22年8月27日	基本泳法
		人命救助
41	平成24年8月7日	はしご登はん
		ロープ応用登はん
		障害突破
46	平成29年8月23日	ロープブリッジ渡過
48	令和元年8月25日	ロープブリッジ渡過
50	令和4年8月26日	基本泳法

2 東北地区支部指導会

大会回数	実施年月日	出場種目
1	昭和47年8月30日	はしご登はん
2	昭和48年7月5日	救命索発射銃
3	昭和49年7月30日	高所人命救助
		50m自由形水中検索
		200mメドレー
		100m自由形
4	昭和50年7月30日	高所人命救助
		ロープ登はん
6	昭和52年7月27日	ロープ応用登はん
7	昭和53年7月28日	ロープ応用登はん (2チーム)
8	昭和54年7月27日	引揚救助
9	昭和55年7月25日	ロープ応用登はん
		ほふく救出
10	昭和56年7月24日	ロープ応用登はん
		ほふく救出
11	昭和57年7月23日	高所人命救助
		引揚救助
12	昭和58年7月28日	高所人命救助
13	昭和59年7月26日	引揚救助
14	昭和60年7月24日	引揚救助
15	昭和61年7月23日	引揚救助
		ロープ登はん
16	昭和62年7月23日	ほふく救出
19	平成2年7月19日	引揚救助
		ほふく救出
20	平成3年7月24日	ロープブリッジ渡過
		ほふく救出
		引揚救助
21	平成4年7月16日	ロープ登はん
22	平成5年7月22日	ロープ登はん
23	平成6年7月21日	ロープ登はん
		斜めブリッジ救助 (2チーム)
24	平成7年7月20日	ロープ登はん
		斜めブリッジ救助
25	平成8年7月25日	ロープブリッジ渡過
		ロープ登はん
26	平成9年7月17日	はしご登はん
		ロープ登はん
		ロープブリッジ渡過
		ロープ応用登はん
		ロープブリッジ渡過
27	平成10年7月23日	ロープブリッジ救出
28	平成11年7月15日	ロープブリッジ救出
		ロープブリッジ渡過
		斜めブリッジ救助
29	平成12年7月13日	ロープブリッジ救出
		ロープ登はん
		ロープブリッジ渡過
30	平成13年7月12日	ロープブリッジ救出
		ロープ登はん
		ロープ応用登はん
31	平成14年7月18日	はしご登はん
		ロープ登はん(2名)
		ロープ応用登はん
		ロープブリッジ渡過
		ロープブリッジ救出
		斜めブリッジ救助

大会回数	実施年月日	出場種目
32	平成15年8月5日	ロープブリッジ渡過
		斜めブリッジ救助
		基本泳法
		溺者救助
		水中検索救助
		人命救助
33	平成16年7月7日	基本泳法
		溺者救助
34	平成17年7月20日	溺者救助
		水中検索救助
35	平成18年7月14日	溺者救助
		人命救助
	平成18年7月20日	障害突破
37	平成20年7月18日	基本泳法
		溺者救助
39	平成22年7月15日	基本泳法
		人命救助
41	平成24年7月19日	引揚救助
		障害突破
		ロープブリッジ救出
42	平成25年7月25日	引揚救助
		障害突破
44	平成27年7月30日	引揚救助
		障害突破
45	平成28年7月29日	障害突破
46	平成29年7月19日	引揚救助
		障害突破
47	平成30年7月25日	引揚救助
		障害突破
48	令和元年7月24日	引揚救助
		障害突破
50	令和4年7月20日	障害突破
		ロープブリッジ救出
		基本泳法



鶴岡市消防本部庁舎

鶴岡市消防本部ホームページ

<http://www.city.tsuruoka.lg.jp/anzen/shobo/index.html>